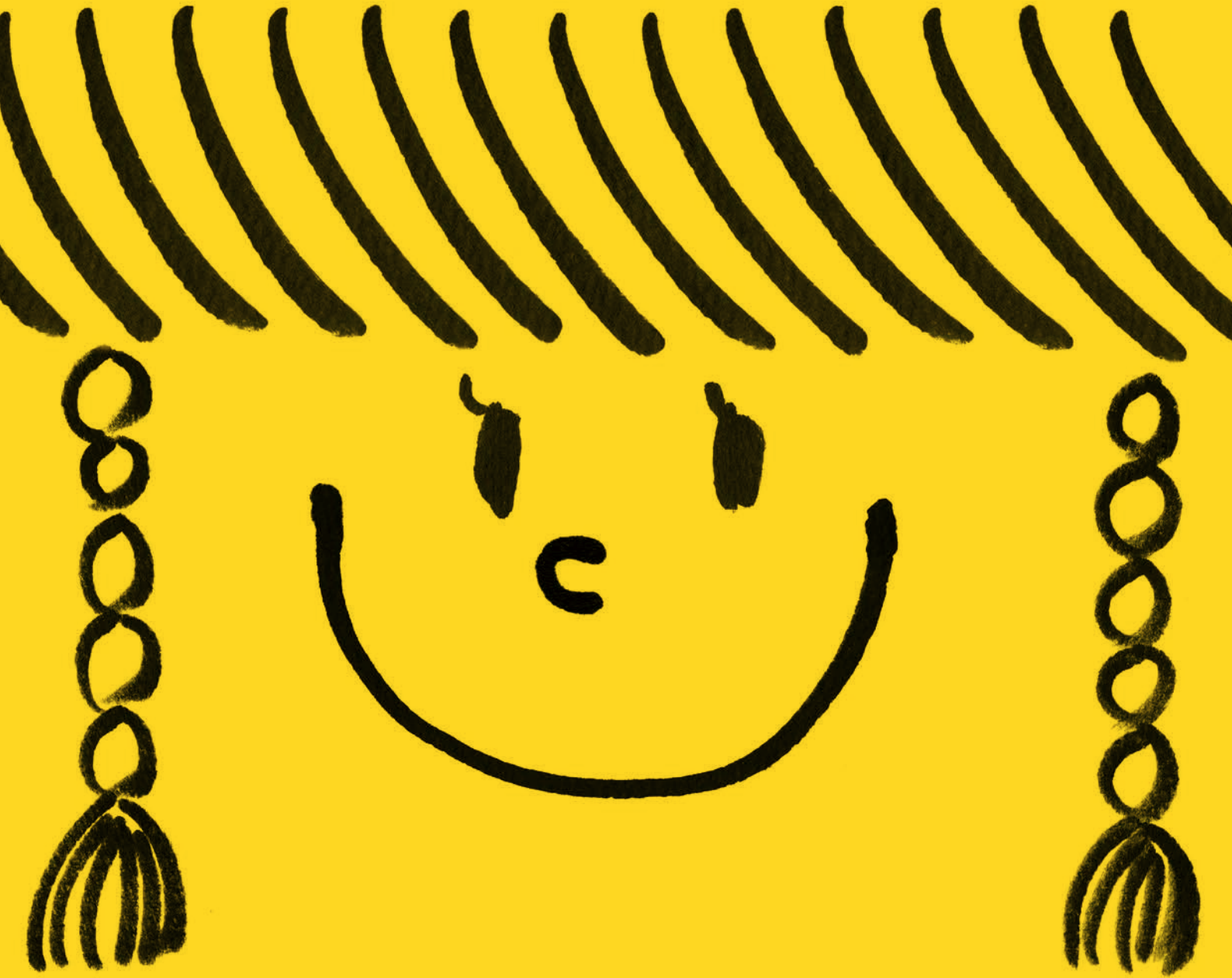


Childline Annual Report 2018



2018 チャイルドライン年次報告



目次

ご挨拶	4
「はい、チャイルドラインです。」	6
2017年 チャイルドライン事業	
子どもの声から今の子どもの状況を考える	8
子どもからの意見と感想	12
オンラインチャット相談	14
アウトリーチプログラム	17
2017年 アドヴォカシー事業	
子どものたちへの共同メッセージ	18
子どもへの広報	20
子どもの声を社会に届ける	22
被災地支援の取り組み、啓発冊子	24
パブリシティ	25
運営体制	
チャイルドライン実施団体の活動状況	26
チャイルドライン支援センター運営状況	30
ご支援・ご協力一覧	31
資料	
統計データ	32
ご提供できる資料・報告書	37

「20周年から30周年へ」

子どもの権利条約が1989年に国連で採択されてから丸30年の時が経とうとしています。日本のチャイルドラインは子どもの権利条約採択からおよそ10年後にスタートしました。これまでの20年間、全国各地で多くの子どもたちの声と心を受け止めてきました。昨年度はおよそ47万件の子どもたちからの発信があり、その内、およそ5万4千件に直接対応してきました。また、世界に目を向けてみれば電話やオンラインなどを通じて、年間2500万件もの子どもたちからのコンタクトがあります。

これほど子どもたちから信頼を受け、心の居場所として選択をされてきた大きな理由の一つは、子どもたちとの等目線での関係性だと考えています。大人が子どもたちに教えるのではなく、子どもたちに寄り添い、一緒に考えたことによって、彼ら彼女たちの安心と安全、そして自信や自尊心が担保されてきたのです。子どもの権利条約が最も大切に「子どもの最善の利益 (Best Interests of the Child)」とは、子どもたちの中にあるそれぞれの自信や自尊心をさまざまな形で育てていく事により保障されるものではないでしょうか。

しかしながら一方で子どもたちの「今」を見つめてみると、その現状は決して条約が指し示すほどには豊かなものであるとは言えないようです。私たちが取り組んでいるいじめや自殺の問題、また貧困や虐待の問題など、深刻な課題が山積していると言わざるを得ません。

日本のチャイルドラインは20周年から30周年への歩みを進めつつあります。この節目あたり、あらためて関係者の皆様が子どもの権利条約CRCの原則に立ち戻り、持続可能な開発計画SDGsの理念を生かしつつ、子どもたちのより豊かな育ちの環境を実現するために、一步一步、着実に前進していただくことを心より願うものです。



チャイルドライン支援センター前代表理事 神 仁

「すべては子どもの笑顔のために」

チャイルドラインが日本に根付いて20年になろうとしています。この度、代表理事という重責を担うこととなりました。身の引き締まる思いでございます。

現在、子どもたちを取り巻く環境は大きく変わってまいりました。デジタルネイティブ世代といわれる今の子どもたちの世界は、親世代の想像を超えた広がりを見せております。IT環境の進化とともに、ネットトラブルの低年齢化も進み、ネットリテラシー教育は急務でありましょう。チャイルドラインもオンラインチャットを子どもの声を受け止めるツールとして取り入れることとなりました。また、いじめ、自殺、虐待の問題、そして居場所をなくした若者の犯罪事件もニュースになっています。子どもたちの自己肯定感を上げていくためアウトリーチプログラムの開発、実行も始めております。すべては子どもの笑顔が絶えない社会を目指すためです。そして、今までと同様に自らの活動の質の向上を目指し歩んでいきたいと思っております。今後とも変わらぬご指導、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



チャイルドライン支援センター代表理事 松江比佐子

「連携、繋がり、連鎖反応をキーワードに…」

日頃よりチャイルドラインの活動を様々な形で支えていただき心から感謝しております。皆さまのご支援のおかげで、昨年度も20万人の子どもたちの声を受けとめることができました。本当にありがとうございました。子どもたちを取り巻く環境はこの数年で大きく変化し、私たちもその流れの先を読みながら時代に即した支援活動を日々検討しアップデートしています。私たちが目指す未来やそれに対する思いは変わりませんが、時代の変化に合わせて自らは進化するチャイルドラインでありたいと思っています。今年度も新しい体制のもと、たくさんのごことにチャレンジをしております。ご支援くださる皆さまと一緒に知恵をしぼり、他団体の方々とも連携を深め、繋がり、連鎖反応を起こし、社会に貢献する喜びと誇りを共有できれば幸いです。たくさんのお子たちの笑顔を作り出すために、今後もチャイルドラインとともに歩んでくださいますようよろしくお願いいたします。



チャイルドライン支援センター代表理事 梅沢元彦

「はい、 チャイルドラインです。」



「チャイルドライン」は18歳以下の子どもの話を聴く活動です。

子どもたちは、行きどころのない気持ちやさびしさ、深刻な悩みを打ち明けてきます。

わたしたちはどんな話、気持ちでもまずは受けとめることから始めます。

そして子どもをひとりの人間として尊重し、話を聴いていくなかで、できることを一緒に考えていきます。

子どもは話をすることで気持ちを整理していき、解決のための次の一歩を踏み出すことができるのです。

話を聴いてもらうことで、自分への理解者がいると感じることもあるでしょう。

一人でも多くの子どもの気持ちが軽くなるよう子どもの話に耳を傾け、
安心できる“こころの居場所”でありたい、それがチャイルドラインです。



ミッションと理念

「子どもが主体の、子どもの最善の利益を実現するために、電話による心の居場所をつくり、受けとめた声を基に子どもが生きやすい社会をつくる。」というミッションを掲げ、「子どもの権利条約」の理念・精神を基本として活動を行っています。特に第3条にある「子どもの最善の利益」を一番に考えています。（「子どもの権利条約」は1989年に国連で採択された国際条約で、日本は1994年に批准しています。）

わたしたちの願い

子どもの願いは何か、大人としてすべきことは何か。私たちは子どもの声に学び、一緒に考えていきたいと思えます。
世の中全体でコミュニケーション力が低下しているとも言われますが、人は自分を受けとめてくれる相手、こころを開いて話せる相手を求めているように思えます。しっかり気持ちを受けとめることで、お互いの信頼を築くことができると信じています。
私たちは、子どもの話に耳を傾ける大人が増え、子どもの笑顔が増えることを願っています。

社会的役割

大人の責任として、子どもの話を聴いたままにするのではなく、そこから見える社会課題や子どもたちの状況を社会に発信していくことで、子どもが生きやすい環境をつくっていきたくと考えています。そのため、子どもたちの声をデータとしてまとめることや、講演会などで“話を聴くこと”の大切さを社会に啓発する活動を重ねています。また、行政・企業・他団体とも連携して「子どもの最善の利益」が保障される社会をつくるために何が必要かを話し合い、協働していくことにも取り組んでいます。

これまでの歩み

1970年代	北欧で子どものためのホットライン活動が始まる
1986年	イギリスでチャイルドラインが開設される（当時のイギリスでは虐待が社会問題となっていた）
1998年	日本でチャイルドライン始まる
1999年	チャイルドライン支援センター設立
2008年	全国统一番号フリーダイヤル運用開始（月曜～土曜日 16:00～21:00）
2016年	オンラインチャットでの相談の試行始まる
2018年	4月1日 全国统一番号フリーダイヤルが毎日受信へ
2018年	6月30日現在 全国40都道府県70団体がチャイルドラインの活動をしている 世界ではチャイルドヘルプラインとして147ヶ所で活動が行われている （CHI Child Helpline International 本部オランダ・アムステルダム）

2017年度活動の概要

通年	統一番号フリーダイヤルの実施(0120-99-7777)とデータベースの集積
随時	オンラインチャット相談試行
随時	アウトリーチプログラム
随時	チャイルドライン活動への理解を求める企業訪問、渉外活動
随時	空白県の子どもたちへの広報活動
年3回	ニュースレターの発行
5月24日	兵庫県・神戸市教育委員会訪問
6月3日	通常総会
6月14日	「広がれボランティアの輪」総会
7月11日	香川県教育委員会訪問
7月13日	文部科学省「SNS等を活用したいじめ等に関する相談体制の構築に係るワーキンググループ」(以下SNS WG)第1回
7月26日	文部科学省 SNS WG 第2回
8月28日	熊本県・熊本市教育委員会訪問
8月25日	2016チャイルドライン年次報告発行
10月28日～ 11月19日	エリア会議・自死予防研修会開催
11月22日	厚生労働省 虐待防止対策協議会
12月25日	文部科学省SNS WG 第3回
1月11日	厚生労働省 自殺対策推進室 訪問
1月25日	文部科学省初等中等教育課訪問
2月3・4日	全国運営者会議
2月28日	文部科学省SNS WG第4回
3月14日	厚生労働省 自殺防止対策事業ヒアリング

**2018年4月1日より、日曜日も全国の子どもからの電話を
フリーダイヤルで受けられるようになり、毎日受信が実現しました。**

（2018年3月末まで22都県で日曜受信を実施してきました。）



子どもの声から、今の子どもの状況を考える



「友だち関係」「恋愛」「身体の変化への戸惑い」といった悩みはいつの時代も変わらないものとして届きます。これらは、成長の過程で自己を確立していくうえで必要なことと考えられます。

「死にたい」「消えたい」という気持ちを訴える子どもからの電話からは、「リストカット」、「摂食障害」など、自分を傷つける行為が、より身近でハードルが低いものになっているという印象を持ちます。

インターネットを使える環境が当たり前なものとなり、SNS、出会い系という言葉が頻繁に聞かれます。子どもが簡単にアクセスするその向こう側にいる大人は、果たして子どもの信頼に値するのかと、とても不安になります。そして、本来子どもが頼る先としてあるはずの親からの虐待や理解の不足、家庭の経済状況、教師の未熟さを訴えてくる子どもたち。

大人との関わりが子どもの生きにくさに大きく影響していることがわかります。全体を通して感じられるのは孤独感や自尊感情の低さですが、私たちは子どもの気持ちを受けとめ、人と会うことの温かさや安心感、自分の存在を認められる体験を少しずつでも伝えていきたいと考えています。

小学生低学年 女子

友達と一緒に帰ろうと思って約束もしたのにBちゃんが入ってきて3人になっちゃった。Bちゃんが嫌いなわけじゃないけど、Aちゃんと二人がよかったのに。でも、Aちゃんが楽しそうにしているから、嫌だって言えなかった。これからもBちゃんが入ってくるようになったらどうしよう。

小学高学年 女子

学校に行きたくない。いじわるされる。友だちは気にせず放っておいたらいいって言うけどすごくキズつく。先生も知っているけど、先生もどうしていいかわからないみたい。

中学生 男子

家が貧乏だし、お金欲しくて、少しでも家族を助けたくて、誰でも稼げるっていうポイントサイトに登録したら怒られた。

小学4年 女子

母が再婚した。生活が苦しくて困ってる。がんばって明るくしてる。4人兄弟で、下に2人いるから世話をしなくてはいけなくて、ストレスがたまる。世話をするのは大変って母に言うけど伝わらない。保育園の送り迎えとかで友だちと遊べなかったり、勉強ができないこともある。嫌になってる。弟たちが寝てる間にお母さんに言ってみる。

中学生 男子

自分の体が今までと違ってきている。勉強しなきゃいけないのに集中できない。これまではちゃんと集中できていた。脳が勝手に他のことを考えてしまう。自分の体が汚らしく感じてしまって嫌になる。こんな自分を受け入れられない。

中学生 女子

淋しい。毎日食べたものを吐くのがやめられない。一生やめられないと思う。やめられないのにやめたいと思ったらしんどいもう消えてしまいたい。

中学生 女子

友だちと連絡が取れなくなって心配。学校あんまりこないけど、SNSの発信は絶対してる子なんだけど、1週間投稿なし。前、ご飯食べさせてもらえないって書いてたし。家に行ってみたけど家の人に追い返された。先生にも相談したけど、先週、家に電話してお母さんと話したから大丈夫って。そのお母さんがいつも怖くてご飯食べさせてくれないのに。

高校1年 女子

友だちってどうやってつくれますか?おとなしいから元気な子は苦手。グループができてきちゃってるから、自分から話しかけられない。本読んでれば時間はつぶせるけど、出来れば友だち欲しかったなあ。

高校生 女子

感情を制御できない。怒りを抑えられない。父もそうでいつも殴られていた。出会い系で素敵な人見つけて、楽しい思いをして死にたい。

高校生 女子

付き合っている彼がいるんだけど、私は彼にふさわしくない。私はかわいくないし、きれいでもない。彼の元カノが他の学校の子なんだけど、すごくかわいい。勝てる気がしない。

高校生 女子

夏が来ると半そでの制服やプールの授業がとてもしんどい。リスカの傷があるから。家族には絶対見つからないようにしているのに。

高校生 女子

先生が捕まった。大好きな先生だったからショック、信じられない。

高校生 男子

同性の人が好き。尊敬の気持ちと違うように思う。恋愛感情かも。親に何げなく話したら、「自然の摂理に外れている」といわれた。

高校1年 男子

部活の顧問とうまくいかない。練習についていけなくなってる。もうみんなに追いつけない。2年生になったら部活はやめて好きな事をしたい。将来は看護師になりたいから、理系のクラスに進みたい。今は友達と愚痴を言いながらなんとかやっています。話したら少しスッキリしました。



※プライバシーに配慮し、再構成したものです。



子どもの声から、今の子どもの状況を考える



〈統一番号フリーダイヤル 2017年実施概要〉

電話番号：0120-99-7777（日本全国共通 / 携帯電話、公衆電話も通話無料）

日時：月～土 16時～21時 ※一部地域では日曜日や時間延長して実施。年末年始は休止。

後援（2017チャイルドライン全国キャンペーン）：内閣府、文部科学省、厚生労働省、総務省

〈オンラインチャット試行 2017年実施概要〉

チャイルドライン支援センターウェブサイト上に専用ページを設置

<http://childline.or.jp/chat/index.html>

5月、8月末に期間限定で開設、9月から4回定期的に開設（年間計57日）16時～21時

19万8千件の電話を着信、チャット相談は1,234件

0120-99-7777	2017年度	1日平均*
着信数	198,434件	542件

※12月29日～1月3日を除く359日

チャット相談	2017年度	1日平均*
対応件数	1,234件	22件

※年間で57日実施

2017年度も年間を通じてフリーダイヤルを実施し、全国で198,434件の電話を着信しました。前年度比は10,809件の減少で、フリーダイヤルを通年で実施するようになって以来、はじめて着信数が20万件を下回りました。背景として通話契約のないスマートフォンの普及や、電話離れなどが要因の1つと考えられます。また、習い事で忙しく電話の受付時間に間に合わない、親の目の届く範囲では電話をかけられない、といった声も子どもから届いています。

オンラインチャットの試行では、1,234件の相談に対応することができました。場所を選ばず会話ができるため、上記のような子どももチャイルドラインに相談できる場となっています。

内容の詳細は、P32以降の資料編をご覧ください。

携帯電話からの利用がさらに増加 76.7%

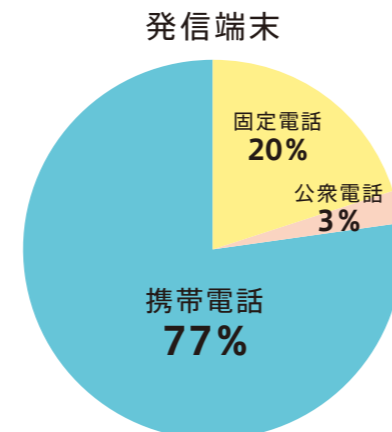
フリーダイヤルにアクセスした子どもが使用した端末は、スマートフォンを含む携帯電話が76.7%で、過去最高だった昨年度の73.9%をさらに上回りました。子どもが通話料を気にせず利用できるよう、フリーダイヤルを今後も維持していく必要があります。一方、インターネットを介した通話システムの検討など、子どもが利用しやすい環境を整備していくことも課題です。

内閣府の調査*によると小学生の50%、中学生の63%、高校生の97%、全体として69%の子どもが携帯電話・スマートフォンを所有しているとの結果が出ています。

*平成28年度 青少年のインターネット利用環境実態調査より

発信端末	2017発信数	比率	2016年度
固定電話	94,406件	20.3%	22.0%
公衆電話	13,988件	3.0%	4.1%
携帯電話	357,064件	76.7%	73.9%

発信端末	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
携帯電話率	76.7%	73.9%	71.7%	65.8%	66.1%	68.2%



チャイルドラインにかけてきた理由

話を聞いてほしい	39,647件	72.9%
答えが欲しい	8,819件	16.2%
誰かとつながっていたい	2,469件	4.5%
お試し	2,178件	4.0%
社会資源情報を求める	112件	0.2%
実際に動いて欲しい	33件	0.1%

チャイルドラインについて	220件	0.4%
(内訳) お礼	(148件)	(0.3%)
苦情	(71件)	(0.1%)
その他	(1件)	(0.0%)
その他	888件	1.6%
合計	54,366件	

男子	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	不明	合計
話を聞いてほしい	54.8%	65.1%	62.0%	67.8%	74.5%	64.1%	70.5%
答えが欲しい	16.1%	17.6%	20.1%	18.3%	16.0%	13.2%	16.6%
誰かとつながっていたい	3.2%	3.4%	3.9%	5.0%	4.4%	6.1%	4.6%
お試し	19.4%	11.0%	12.0%	6.6%	3.0%	8.9%	5.5%
社会資源情報を求める	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	0.9%	0.4%	0.3%	0.2%	0.8%	0.4%
その他	6.5%	1.7%	1.5%	1.7%	1.7%	6.9%	2.3%

女子	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	不明	合計
話を聞いてほしい	72.5%	69.2%	72.2%	76.7%	79.9%	65.7%	75.9%
答えが欲しい	11.8%	18.7%	19.5%	17.2%	13.3%	13.5%	15.9%
誰かとつながっていたい	2.0%	3.2%	2.6%	3.2%	5.0%	12.1%	4.3%
お試し	11.8%	6.8%	4.0%	1.6%	0.6%	4.5%	2.3%
社会資源情報を求める	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	0.7%	0.6%	0.4%	0.2%	1.1%	0.4%
その他	2.0%	1.1%	0.8%	0.6%	0.6%	3.0%	0.8%

子どもがチャイルドラインを利用した動機・理由（受け手ボランティアが感じ取ったものを統計化）は、7割が「話を聞いてほしい」というものです。男女ともに年齢が上がるとともに上昇していく傾向が見られます。「答えがほしい」という相談は16%にとどまります。揺れ動く気持ちを整理したり、抱え込んでいる思いを解消したり、悩んでいる子どもの背中を少し押し

ことで、多くの子どもが自分の力で前へ進んでいく、その過程にチャイルドラインは寄り添っています。一方、件数としては多くありませんが、虐待やいじめなどのケースでは、他の専門機関の情報を求める場合もあり、子どもの状況に応じた様々な対応が求められています。

チャイルドラインから見える貧困下の子どもの状況

2017年度に対応した相談のうち、背景に貧困が関係していると受け手ボランティアが感じたものは421件ありました。相談全体と比較すると、貧困が関係している相談では虐待や家庭内暴力、進路や生き方についての主訴の比率が高くなっており、貧困が子どもの進路に影響を与えたり、虐待・家庭内暴力につながっていることも推察されます。

また、特待生として入学したが怪我で部活をやめなければならず学費が払えない、食事を用意されず学校給食で食べつないでいる、親が夜の仕事をし

て学校に遅刻しがちになり先生や同級生からいじめを受ける、など厳しい状況がうかがわれます。

主訴	貧困背景 (n=421)	全体 (N=54,366)	差
虐待	16.2%	3.0%	+13.2%
家庭 / 暴力	4.0%	0.4%	+3.7%
進路・生き方	5.9%	2.9%	+3.1%



子どもからの意見と感想



相談したいのですが、午後4時とかだと家の人がいたりするのでやりづらいです。もっと早い時間帯から受け付けていただくと嬉しいです。(高校生 女子)

相談できる時間帯を24時間にしてほしい。今すぐにでも助けてほしい時、頼れるのがチャイルドラインしかない時もあるから。(17歳女子)

どうして、ネットで繋がるのですが、少ないのですか？1か月に2週間は、やってほしいです。(11歳女子)

ネットを使って相談することが出来る日をもっと増やして欲しい。相談したいのに相談できる日がいっぱい塾の日と被っていてなかなか相談できないし、電話だと家族に聞かれるから嫌なんです。忙しいと思いますが、ネット相談を増やしてください。(13歳女子)

何回も電話したのに出てくなくて、さらに辛い気持ちになりました。(18歳女子)

会話を誰かに聞かれるのが嫌で、なかなか電話が出来る機会がなくて(家に誰かがいることが多い)チャットを利用しました。家族に話しても理解してもらえない悩みを親身になって聞いて下さりました。改めて気づかされたことも多く、救われました。私のように電話相談がしにくい子もいると思います。チャット相談の期間を延ばすか、常設して頂けたら嬉しいです。ご検討よろしくお願い致します。(17歳女子)

話を聞いてくれたけど、「うん、そうだね」としか言ってくれなかったのずっと話すのに疲れてしまいました。(12歳女子)

今まで誰にも話していなかったことを思い切って電話してみた。自分の性格のことで悩んでいたけど、変わるの自分次第なんだって思えた。話ただけで、結構楽になれた。今くよくよしてても変わらない。気をつけて意識して行きたいと思えた。(15歳女子)

話したけど解決しなかった。同感でおわった。相談した意味ないなって思ってしまった。(16歳女子)

私は将来のことや家族のことで相談した時に親身になってチャットをしてくれて心が軽くなりました。家で一人の時はまた相談させてください。本当にありがとうございました。(11歳女子)

久しぶりにあったかい言葉をかけてもらってとても嬉しかったです。また泣きたくなった時に電話したいです。(14歳男子)

私は毎日死にたくて苦しくて堪られなくて、いつも何にもできない自分が大嫌いで迷惑しかかけない自分が嫌でたまらなくて、学校には行けない事が殆どで毎日が辛くて苦しくてそれでもなんとか自分は恵まれてるんだから生きなければと思っていました。そんなある日学校から帰ってきて疲れ果てた私はもう駄目だ今日死んでしまおうかと思いました。なぜだかその時小学校の頃学校でもらったチャイルドラインの名刺を思い出して検索したら何でも話していいと書いてあった。こんな私の面白くもなく聴いてくれる人に迷惑をかけるような鬱々しくどうでも良い話をして良いのだろうか？ととても悩みましたがその時の私は誰かに話を聞いてもらわなければ死んでしまいそうだったので、電話をかけさせてもらいました。緊張で繋がる前に何度か切ってしまったけれど、繋がったらおばさんの優しい声がして驚きました。業務って感じの硬い声かと思っていたらお母さんのような優しい声で話を聞いてくれて、否定することなく相槌や頑張ってるね。などという言葉を送ってくれて涙が止まらなくなりました。迷惑じゃないと言ってもらえて嬉しかったです…ありがとうございました。こんな自分の話で殆どの感想でごめんなさい。本当に私はここに電話をして話しを聞いてもらえたお陰でその日が支えられました。感謝しています。ありがとうございます。(14歳女子)

相談してほっとしたよ～～！嬉しかったです。色んな人、ありがとうございます！私は、イジメで悩んだ気持ちを克服出来て嬉しかったです！(10歳女子)

もやもやしていたことを話したらすごく優しく、話しやすく聞いてくれて一緒に考えてくれました。電話してよかったです！(10代女子)

こんばんは。今日、電話してお世話になりました。自分の今抱えている悩みが解決したわけではないんですが、私の発言にNOといわずどっちを選んでもいいよと優しく言ってくれました。何とか頑張れそうです。これからもいろいろな不安に思えることがあるかも知れませんが、お世話になるかも知れませんがその時はよろしくお願いします。(17歳男子)

本当によかった。優しいし、あんなに泣いたのは久しぶりだった。それでもちゃんと聞いてくれて嬉しかった。最初は電話するのを躊躇ったけどかけたらもう優しく、一気に悩みがでた。ありがとうございました。(16歳女子)

たった数分話ただけだったけど、温かさに涙が溢れました。自分を肯定してくれる人がいるって思うとすごく嬉しかったです。すごく楽になりました。本当にありがとうございました。(高校二年生女子)

自分の相談に親身になって話を聞いてくださりました。人に相談することで自分の感情が溢れてきて、たくさん泣きました。でも、泣いてスッキリしたし、自分の話を聞いてくれて本当に嬉しかったです。ありがとうございました。(15歳男子)

最初怖くて怖くてかけようかかけまいか迷っていたけど電話をしたときとても優しい声だったから話やすかった私には嫌なことを話す相手がいなかったからとても嬉しかったです。生きていて良かった。一人でかかえこむよりも電話をすればよかった。(12歳女子)

※チャイルドラインのウェブサイトを通じて寄せられた感想・意見・質問です(公表することを明記し募集しています)。



オンラインチャット相談



チャイルドラインにかかる電話は、現在75%以上が携帯電話／スマートフォンからとなっています。子どもにとってインターネット通信を使った文字によるコミュニケーションが身近になり、子どもが相談しやすい環境を整えていくため、オンラインチャット相談の試行に取り組んできました。2019年4月からは、電話に並ぶツールとして正式に取り組むことが決まりました。

子どもを取り巻く環境の変化

(1) 8割以上の中高生がスマートフォンを利用

総務省が発表した平成29年度情報通信白書では2016年時点で13歳から19歳の80%以上が(高校生では96.7%)がスマートフォンを所有しているとの結果が出ています。また10代のうち81%がLINEやFacebookなど何らかのSNSを利用しているなど、多くの子どもがインターネットによるコミュニケーションを日常的に行っていることがうかがえます。一方で、公衆電話、家庭の固定電話の減少や、電話番号を持たないスマートフォンの拡大により、電話(電話回線)を利用しにくくなってきています。文部科学省、厚生労働省でも電話に加えSNS等による相談体制の拡充を進めており、社会的にもインターネットによる相談体制の構築が求められています。

(3) 1,714件の相談に対応

2016年3月から2018年3月までの2年間、計92日間のオンラインチャット相談試行で、1,714件に対応しました。2017年9月からは月4回第1,3金曜日/第2,4木曜日)の定期的な体制に移行しています。

2016年3月24日～2018年3月22日/92日間

チャット利用者数	対応件数(会話成立)	対応率	対応時間	平均時間
7,542人 (1日82人)	1,714件 (1日19件)	22.7%	68,207分 (1日741分)	40分

チャット専用ページの訪問者数は18,422人/92日間

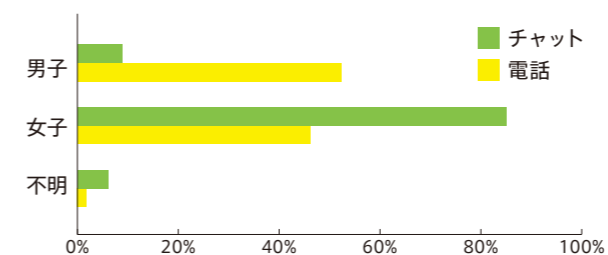
(2) 子どもの声に応える

チャイルドラインが2013年度に行ったアンケート調査では、電話以外の方法があると良いと答えた子どもは48.6%、そのうちメールが良いと答えた子どもが53.5%に上りました(高校生では75.4%)。またウェブサイトを通じて子どもから寄せられた意見として、家の中では声が聞こえてしまうので電話をかけられない、といった声も届いています。さらに、これまでチャイルドラインを利用できなかった海外在住の子どもや、聴覚障害のある子どもにも相談機会を提供できるようになることから、子どもにとって電話以外の選択肢が必要となっています。

チャットにおける相談の特徴

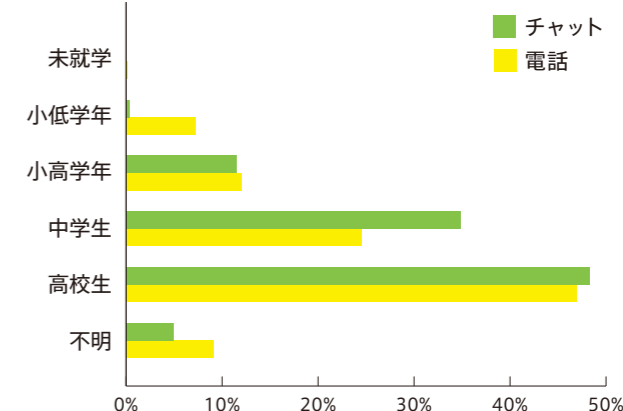
- 1回の対応時間が電話(約15分)の3倍近くかかる
- 利用者の性別は8割が女子である
- 年齢は主に中高生である
- 話し相手を求める雑談のようなものが少ない
- 中高生からの相談が多い
- 主訴が明確なものが多い

〈性別〉女子が8割以上で、電話と比べて男子が少ない 〈年齢〉中高生の比率が高い



〈主訴〉「性」4.3%、「雑談」1.4%と、電話と比べて非常に少なくなっている。雑談の少なさは、文章にすることにより内容が明確化されていくためとみられる。

主訴 (1%以上のデータ抽出)	チャット	電話
学校・フリースクール	33.7%	26.1%
人間関係	19.7%	14.2%
いじめ	4.8%	5.2%
勉強・成績に関すること	3.2%	3.0%
不登校	3.0%	0.9%
その他	2.9%	2.9%
部活	5.1%	3.0%
人間関係	3.1%	1.5%
その他	2.3%	1.9%
性	4.3%	17.0%
家庭	15.3%	10.8%
人間関係	9.0%	5.3%
虐待	2.6%	3.0%
暴力	1.2%	0.4%
その他	2.6%	2.2%



主訴 (1%以上のデータ抽出)	チャット	電話
職場	0.4%	0.5%
ネットトラブル	2.0%	1.1%
地域	1.1%	1.8%
自分	38.2%	39.7%
自分の落ち込み	6.5%	5.2%
自信の無さ	4.7%	1.9%
自死(自殺)念慮	2.2%	0.7%
自傷行為	1.7%	0.3%
こころ その他	4.6%	3.2%
身体に関する事	2.5%	4.3%
性格のこと	1.5%	1.1%
進路・生き方に関する事	5.3%	2.7%
恋愛	4.4%	4.8%
雑談	1.4%	10.8%
その他	3.4%	4.6%

(4) チャットのコミュニケーションは、子どもにとって有用

ウェブサイトを通じて寄せられた子どもからの感想には、電話を利用しにくい環境なのでチャットを利用したという声があったほか、海外在住の子どもからのチャット利用もあり、チャイルドラインにつながる可能性を上げていることが確認されました。

チャイルドラインでは「子どもが自分の気持ちを話すことで、気持ちの解消や整理につながる」ことを重視していますが、文章で書き出すことも同様の作用を生んでいることがうかがえます。また受け手のコミュニケーションの中で、自分の気持ちに向き合う様子もみられました。

子どもの声(チャイルドライン支援センターホームページを通じて寄せられた声)

- 会話を誰かに聞かれるのが嫌で、なかなか電話が出来る機会が無くて(家に誰かがいることが多いため)チャットを利用しました。
- チャットで相談をしましたが、家で一人になる時間がほとんどないので、声を出さなくていいチャットで相談できてとても良かったです。期間限定とのこと残念です。ぜひまたやってください。

受け手の感想より

- 電話より対話に時間が掛かり情報量が少ないが、掛け手が自分の書き込みを進めるうちにすっきりしたり、自ら結論にたどりつきやすい感触があった。
- 共感を示す言葉は、掛け手の発した言葉そのものでは、電話と違い、直前の発言を繰り返しているだけのように見えた。少し言い換えたりまとめる方が、掛け手が「理解された、共感された」ととらえられる感触があった。



オンラインチャット相談

アウトリーチプログラム



(5) チャイルドラインとしてチャットでの対応は可能

受容・共感をチャットで示す(子どもの気持ちを受けとめ寄り添う)

受け手の感想や子どもの声、丁寧なやりとりを心がけることで、チャットでも受け手の姿勢を感じ取ってもらうことが出来ます。文字でのうなずきやあいづち、オウム返しなどは「自分の話を聞いてくれた」「わかってくれた」と感じにくいので、チャットにおいて受容・共感を示すためには要約や言い換え、問い返しなどがより適切。

チャットと電話の特性の違い

	チャット(文章会話)	電話(音声会話)
長所	<ul style="list-style-type: none"> • 考えていることを書き出すという行為に、気持ちの確認や整理という効果がある • 周囲に人がいても利用できる • 聴覚や発語に障がいがある場合や、海外からも利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> • 感情が読み取りやすい • 「やさしい」など、人のぬくもりが伝わりやすい • 話をする事で気持ちを整理しやすい
短所	<ul style="list-style-type: none"> • 言葉に込められた感情が読み取りにくい(子どもからも、冷たく映る場合がある) • 会話に時間がかかる 	<ul style="list-style-type: none"> • 他人に聞かれないような環境が必要 • 聴覚や発語に障がいのある子どもや、海外に住む子どもは利用できない

子どものスピードについていけるか

子どものスマートフォン操作の速度に対応できるかという点については不安を抱えていましたが、短文で即座に返信してくれる子どもがごくたまにみられる一方、言葉を慎重に選び、自分の気持ちを丁寧に表現しようと時間をかけて返信してくれる子どもが多く、操作に不慣れなスタッフでも、焦らずに時間をかけて対応することが可能です。

子どもの声(チャイルドライン支援センターホームページを通じて寄せられた声)

- チャットを利用しました。家族に話しても理解してもらえない悩みを親身になって聞いて下さりました。改めて気づかされたことも多く、救われました。
- チャットで相談したのですが、とても相談しやすかったです。一緒に考えてくださって、嬉しくなりました。

受け手の感想より

- 受容、共感的理解、そして適切な質問、要約。相手の気持ちをくみ取りにくいので、要約は大切だと思います。また、気持ちの反射、伝え返し。同じ言葉と明確化された言葉の使い方。など基本が大事と実感しました。どうしても繋がっている時間が長くなってしまいがちなので、相手の気持ちと言いたい事を察する力が大事だと思いました。
- 子どもに向き合う・寄り添う姿勢や「聴く(アクティブリスニング)」ということについては電話もオンラインも基本的にはまったく何も変わらないと再認識しました。

(6) 3年間の試行を経て、本格展開へ

文字に表すことで気持ちを整え、自分で結論にたどりつく様子も見られるなど、試行を通じ文字によるコミュニケーションで子どもの気持ちを聴き、寄り添うことの可能性を見出ししてきました。また拠点の拡大やスタッフの育成にも取り組んできた結果、2017年度は10拠点で約200名のスタッフがチャット相談に参加、2018年6月からは毎週木曜日に定期的実施されるようになりました。

チャットの特性である「気持ちの読み取りにくさ」へのアプローチやセキュリティ対策のさらなる強化、より多くのチャットに対応できるようスタッフ体制の増強など、継続的に取り組んでいくべき課題はありますが、子どもにとっての選択肢としてオンラインチャットをさらに展開していきます。



栃木県宇都宮市の小学校で(2018年2月)

チャイルドラインの活動は子どもの話を聴き、気持ちを受けとめることと同時に、子どもが生きやすい社会をつくることを使命としています。これまで行ってきた電話や試行中のオンライン相談では子どもがアクセスしてくるのを待つのにに対し、子どもたちのところに直接出向いて環境を改善するための支援の方法として考えだされたのが、このアウトリーチプログラムです。

「アウトリーチ」とは福祉領域などで現場出張サービスとして用いられる言葉です。

2016年度に作成したプログラム第1弾は、主に小学校高学年向けに、チャイルドラインが培ってきた「聴く」という手法を軸に、お互いが気持ちよくコミュニケーションできるようになるヒントを含んだワークショップで、いじめなどの問題の予防につながることを目指しています。現在は「気持ちを表現する」をテーマとしたプログラム第2弾についても検討を始めています。

2017年度は、学校の授業時間をいただき子どもたちにプログラムの提供を開始するとともに、プログラ

ムを実施する担い手を増やしていけるよう、全国各地のチャイルドライン実施団体での進行レクチャー等などに取り組みました(東京、愛知、京都、宮崎、鹿児島)。また、文部科学省が子どもに豊かな教育機会を提供するため、地域や民間企業、NPOと連携して推進している「土曜学習応援団」にも登録を行いました。

プログラム第1弾概要

聴いてみよう、話してみよう

～わかりあうためのコミュニケーション～

(表現ワークショップと傾聴体験)

【ねらい】

日常の中でのコミュニケーションの取り方を見つめ直す

【進行】

1. グラドルールの提示
2. 導入～歩くワーク～: 距離感を体感する
3. フォーラムシアター: ショートドラマを作り変える体験
4. 傾聴体験: 2人組になり、話を聴く/聴いてもらう体験

【所要時間】

45分程度

子どもたちへの共同メッセージ



夏休み明け前後、子どもの自死が多くなることを受け、4つのNPOと子ども に向け、共同メッセージを発信し、マス・メディア等に取り上げられました。

学校へ行きたくないあなたへ、味方はココにいます。

『つらければ学校を休んでいい、学校から逃げていい』
というメッセージを聞いたことがあるかもしれません。

『学校へ行きたくない』と思っているのは自分だけなんじゃないか。
つらいことがあったからといって、逃げてしまうのはダメなんじゃないか。
学校を休んだあと、自分の将来はどうなってしまうのか。

そんな思いを抱えながら学校へ行き続けてきたあなたにとって
『休んでいい、逃げていい』というのは、
もしかしたらそんなにかんたんな話ではないかもしれません。

でも、今、学校はあなたにとって、安心で安全な場所ですか。
まわりに合わせるために、自分らしくないキャラを演じたりしていませんか。
親に迷惑をかけないよう、ひとりきりで乗り切ろうとしていませんか。

学校のことを考えるのがつらくてどうしようもないとき、
『自分の味方なんていない』という考えが頭をよぎることがあるかもしれません。
そのあなたに、伝えたいことがあります。

あなたがあなたのままでいることを支えてくれる味方はココにいます。
みな、あなたの今に寄り添い、明日のことを一緒に考えてくれる味方です。

“私の話を聞いてほしい” と思ったときには、「チャイルドライン」があります。
18歳以下であれば誰でも無料で電話がかけられます。
あなたの思いを大切に受けとめる大人がいます。

“学校以外で通える場所がほしい” と思ったときには、
「フリースクール」があります。

全国100団体が加盟するネットワークのなかには、
この時期に無料で体験入会ができるフリースクールもあります。

“親にわかってほしい” と思ったときには、「全国ネット」があります。
長年、不登校の子を持つ親の想いと向き合ってきました。
『学校へ行きたくない』というあなたの気持ちを
どうしたら親の方にわかってもらえるか。そのヒントが得られます。

“いじめにあってつらい” と思ったときには「ストップいじめ!ナビ」があります。
いじめや嫌がらせから抜け出すための
具体的な相談先やアイテムなどの情報を、ウェブ上で教えてくれます。
またメンバーには、いじめ問題に詳しい弁護士もいます。

“不登校経験者の話が知りたい” と思ったときには、
「不登校新聞」があります。不登校のきっかけや不登校した後に
どのような人生を歩んできたのかなど、実際の体験談を載せています。

『学校を休みたいけど、休めない』と思ってつらくなったとき。
自分の気持ちを誰かに話したくなったとき。
どこか通える場所はないかと探したくなったとき。
いじめや不登校について知りたくなったとき。

あなたの味方がココにいることを思い出してほしいのです。

2017年8月25日

NPO法人全国不登校新聞社

NPO法人チャイルドライン支援センター

NPO法人フリースクール全国ネットワーク

NPO法人登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク

NPO法人ストップいじめ!ナビ

子どもへの広報



子どもたちにチャイルドラインの電話番号を知ってもらい、子どもが必要と思ったときにつながるができるよう、私たちは名刺サイズのカードを配っています。チャイルドラインの実施団体のない7つの県(山形、茨城、兵庫、香川、佐賀、熊本、沖縄)の子どもたちへはチャイルドライン支援センターが各県、政令市の教育委員会、学校にご協力を依頼し届けています。また、全国の小児科医院6000ヶ所、児童館2800館にポスターを掲示することで、学校外での周知もしています。

(ご協力:公益社団法人 日本小児科医会、一般財団法人 児童健全育成推進財団)



空白県の子どもたちにカードを届けました。

■ カード (空白県広報用)



【キャラクター版】

【中高生版】



■ ポスター



【キャラクター版】

【傘の少女版】

【4つの約束版】

【女子高生版】

【高橋大輔さんご協力で作成しているポスター2種類】

(1) 空白県の現状

7県に住む小学生・中学生・高校生に相当する7歳～18歳の人口は約166万人。

※ 2015年度国勢調査結果より

県名	子ども人口 (7歳～18歳) ※
山形県	120,554人
茨城県	321,842人
兵庫県	613,975人
香川県	106,251人
佐賀県	100,491人
熊本県	201,490人
沖縄県	197,923人
計	1,662,526人

(2) 2017年度の配布活動

全空白県にカード220万枚とポスターの配布を実施しました。

配布先	カード枚数	配布時期	配布協力
山形県	183,740枚	2018年2月～3月	三和ホールディングス
茨城県	440,000枚	2017年12月～2018年1月	東京海上アセットマネジメント
兵庫県	534,000枚	2017年7月～8月	
神戸市	168,520枚	2017年9月	東京海上日動
香川県	167,560枚	2017年8月	東京海上ビジネスサポート
佐賀県	145,200枚	2017年8月	東京海上ビジネスサポート
熊本県	301,920枚	2018年2月～3月	東京海上日動
沖縄県	280,760枚	2018年8月	三和ホールディングス
計	2,221,700枚		



(3) 企業との協働

カードの発送作業は、ご支援をいただいている企業様との協働により実施しています。社内の会議室等をお借りし、昼休みや終業後などに社員の皆様にボランティア活動としてご参加いただいています。準備段階から社会貢献担当部署の方が窓口になってくださり、社員の皆様へのご案内や会場のご手配など、様々な形でのご協力をいただいています。当日は作業とあわせてチャイルドラインの紹介、活動の状況や子どもの状況、聴くこと、寄り添うことの大切さをお伝えしています。

三和グループ社会貢献倶楽部は、三和シャッターの創立50周年を記念して2006年11月よりスタートした役員、従業員有志による寄付やボランティアなどの社会貢献活動を行う団体です。チャイルドライン様へは同倶楽部設立の2006年度より寄付を行っており、カード発送ボランティアは2012年度より毎年協力させていただいております。これからも日本中の子どもたちの心が少しでも軽くなるように、微力ながらお手伝いをさせていただけたらと考えています。



三和ホールディングス株式会社 三和グループ社会貢献倶楽部 様

東京海上日動の社員有志による寄付制度「Share Happiness 倶楽部」より寄付をさせていただくほか、毎年、カード発送のお手伝いの機会を頂戴しています。子どもたちから寄せられる様々な声や課題についての講演の後、社員たちが心を込めてカードを封入して発送します。参加した社員からは、「子どもたちの置かれた現状が非常に難しいことがよくわかった」、「大人である私たちに出来ることは何だろうと改めて考えさせられた」といった感想が寄せられています。

今後も多くの子どもたちが笑顔になるような取組みをされること期待し、応援していきます。

私たち東京海上グループでも、全国のチャイルドライン運営者、「受け手」、「支え手」の皆さんと同じ気持ちで、子どもたちのために出来ることを一緒に考えていきたいと思っております。

東京海上日動火災保険株式会社 経営企画部 CSR 室 高津戸さおり 様



子どもの声を社会に届ける

2017年10月の座間の事件をはじめ、子どもや若者がLINEやTwitterなどのSNSを通じ事件に巻き込まれたり、自死に追い込まれるという痛ましいニュースが後を絶ちません。おとな同士が手を繋ぐことで、すこしでも子どもの生きづらさを解消し、子どもたちの健全な育成を目指したいと考えています。

文部科学省 SNS等を活用したいじめ等に関する相談体制の構築に係るワーキンググループに参加しました。

第2回では、オンラインチャットでの相談を先行して実施しているチャイルドラインから試行に関する報告をしました。また「子どもの長期休暇明け前後に児童生徒が亡くなるケースが毎年急増する傾向」を受け長期休暇明け前後に悩みを抱えている児童生徒をターゲットとしたキャンペーンを行うことを提案しており、関係事業者によるキャンペーンの取り組みがされることになりました。

(第1回7月13日、第2回7月26日、第3回7月31日、第4回12月25日、第5回2018年2月28日)
最終報告
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/131/houkoku/1404563.htm



7月26日 神前代表と高橋プログラムマネージャーによる「チャイルドライン」におけるオンラインチャット相談についての報告

- 被害者ケアとして、現場のベストプラクティスをどう共有しているか。
- アンケート調査(2万人)によると、大人の6割が虐待を容認している。すでに53か国で法制化されているが、法律による明示的禁止をどう進めていくのか。
- 高校生の妊娠退学について、本人を孤立させ学歴も得られず貧困や虐待にもつながる。国として明確な方針と対応が必要。

児童虐待防止推進月間

厚生労働省では、毎年11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得ることができるよう、児童虐待防止のための広報・啓発活動など種々な取組を集中的に実施しています。

日本虐待防止学会

<SDGsの実現に向けて>

千葉県で開催された日本虐待防止学会の分科会に登壇し、電話やチャットから見える子どもの現状を伝えました。(登壇協力:チャイルドラインちば(千葉市)代表宇野京子) またセーブザチルドレンジャパンの、虐待や体罰の法的全面禁止を求める意見広告に賛同し発信しました。

児童虐待防止対策協議会

2017年11月22日「第20回児童虐待防止対策協議会」に出席しました。厚生労働省のほか、文部科学省などの関係省庁、関係団体、NPOなど46団体が出席し、取り組み状況と意見交換が行われました。

<各省庁の取り組み状況(抜粋)>

- 厚生労働省**: 死亡事例においては家庭が地域から孤立している場合が4割に相当する。切れ目のない支援のため子育て世代包括支援センターを全国展開していく。
- 文科省**: スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーをさらに充実させていく
- 法務省**: 子どもの人権110(電話)は2万3千件。SOSミニレターは1万6千件
- 警察庁少年課**: 対応力向上のため、危険度判断のアセスメントツールの利用やベストプラクティスを研修に活用している。

<出席団体からの意見(抜粋)>

- 刑法の改正によって、性的虐待が性犯罪とみなされるようになったことは大きな一歩。**

チャイルドライン支援議員連盟より応援メッセージ

開設から間もなく20年を迎えるチャイルドラインが、しっかり気持ちを受けとめ、寄り添っていることは子どもの生きる権利の一助になっていることと確信しています。また、社会や子どもの状況の変化に合わせ、いち早くオンラインチャットでの相談に取り組み、活動の幅を広げていることなど子ども支援に取り組みリーダー的存在としてますますの活躍を願っています。チャイルドライン支援議員連盟はこれからも、チャイルドラインとともに子どもの生きやすいよりよい社会を目指していきます。

チャイルドライン支援議員連盟一同

支援議員(敬称略)

衆議院

名前	政党	衆参	選挙区
道下 大樹	立民	衆	北海道1区
荒井 聡	立民	衆	北海道3区
和田 義明	自民	衆	北海道5区
伊東 良孝	自民	衆	北海道7区
逢坂 誠二	立民	衆	北海道8区
武部 新	自民	衆	北海道12区
遠藤 利明	自民	衆	山形1区
井上 義久	公明	衆	比例東北
江渡 聡徳	自民	衆	比例東北
岡本 あき子	立民	衆	比例東北
高橋 千鶴子	共産	衆	比例東北
山崎 誠	立民	衆	比例東北
船田 元	自民	衆	栃木1区
枝野 幸男	立民	衆	埼玉5区
大島 敦	国民	衆	埼玉6区
山口 泰明	自民	衆	埼玉10区
野中 厚	自民	衆	埼玉12区
三ツ林 裕巳	自民	衆	埼玉14区
大河原 雅子	立民	衆	比例北関東
永岡 桂子	自民	衆	比例北関東
山川 百合子	立民	衆	比例北関東
菅原 一秀	自民	衆	東京9区
松原 仁	無所属	衆	比例東京
柿沢 未途	無所属	衆	比例東京
高木 美智代	公明	衆	比例東京
初鹿 明博	立民	衆	比例東京
蓮浦 健太郎	自民	衆	千葉5区
松野 博一	自民	衆	千葉3区
阿部 知子	立民	衆	神奈川12区
田嶋 要	無所属	衆	比例南関東

参議院

名前	政党	衆参	選挙区
富田 茂之	公明	衆	比例南関東
中谷 一馬	立民	衆	比例南関東
畑野 君枝	共産	衆	比例南関東
古屋 範子	公明	衆	比例南関東
野田 聖子	自民	衆	岐阜1区
上川 陽子	自民	衆	静岡1区
渡辺 周	国民	衆	静岡6区
工藤 彰三	自民	衆	愛知4区
中川 正春	無所属	衆	三重2区
日吉 雄太	立民	衆	比例東海
馳 浩	自民	衆	石川1区
佐々木 紀	自民	衆	石川2区
大岡 敏孝	自民	衆	滋賀1区
泉 健太	国民	衆	京都3区
左藤 章	自民	衆	大阪2区
藤井 比早之	自民	衆	兵庫4区
浮島 智子	公明	衆	比例近畿
宮本 岳志	共産	衆	比例近畿
森山 浩行	立民	衆	比例近畿
山井 和則	国民	衆	比例近畿
岸田 文雄	自民	衆	広島1区
河村 建夫	自民	衆	山口3区
後藤田 正純	自民	衆	徳島1区
平井 たくや	自民	衆	香川1区
福山 守	自民	衆	比例四国
原口 一博	国民	衆	佐賀1区
北村 誠吾	自民	衆	長崎4区
坂本 哲志	自民	衆	熊本3区
衛藤 征士郎	自民	衆	大分2区
富岡 勉	自民	衆	比例九州

名前	政党	衆参	選挙区
愛知 治郎	自民	参	宮城
櫻井 充	国民	参	宮城
田名部 匡代	国民	参	青森
上野 通子	自民	参	栃木
羽田 雄一郎	国民	参	長野
藤田 幸久	国民	参	茨城
吉田 博美	自民	参	長野
小川 敏夫	立民	参	東京
小西 洋之	無所属	参	千葉
中川 雅治	自民	参	東京
蓮 舫	立民	参	東京
薬師寺 みちよ	無所属	参	愛知
福山 哲郎	立民	参	京都
糸数 慶子	無所属	参	沖縄
松下 新平	自民	参	宮崎
今井 絵理子	自民	参	比例
神本 美恵子	立民	参	比例
そのだ 修光	自民	参	比例
田村 智子	共産	参	比例
福島 瑞穂	社民	参	比例

役員体制(敬称略)

会長 河村 建夫(自民)	幹事長 馳 浩(自民)	幹事 田嶋 要(無所属の会) 後藤田正純(自民)	事務局長 泉 健太(国民)
副会長 羽田雄一郎(国民) 岸田 文雄(自民) 高橋千鶴子(共産)	幹事長代理 浮島 智子(公明)	阿部 知子(立民)	副事務局長 小西 洋之(立民)



仮設住宅での子供の様子



熊本を訪問 2017年8月28日～30日

- 熊本県教育委員会・仮設住宅を訪問し、子どもたちの様子や支援の状況をお伺いしました。
- KVOAD (NPO 法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク) の定例会議に参加し、支援・ボランティアの状況をお伺いし、チャイルドラインの活動をご紹介します。

●九州地区のチャイルドラインと災害支援の振り返りと九州における連携について話し合い、2018年度「支援の輪」を一つのテーマとして九州において、全国フォーラムを開催することを検討することになりました。
(2018年11月10日～12日「チャイルドライン開設20周年全国フォーラム in 九州」開催予定)

いつどこで災害が起こるかわからない日本において、日ごろの備えの大切さをかみしめています。
いざというときに慌てず子どもの声に耳を傾け、寄り添うことがチャイルドラインに求められています。

啓発冊子の制作



「気持ちを聴く～チャイルドラインが大切にしていること～」

チャイルドラインが子どもとの対話の中で大切にしている基本姿勢や聴き方を日常のコミュニケーションに取り入れるためのヒントをまとめました。この冊子を参考にいただくことで家族間、友人間のコミュニケーションがよりよく変化し、子どもも大人も生きやすい社会の実現につながる一助になればと思います。

- 主な内容
- 最後まで聴く
 - 気持ちを聴く
 - 理解し、受けとめる
 - 安心感
 - アドアイスよりも自己決定

講演会、イベントなど配布の機会がございましたら事務局までお知らせください。

テレビ

局、番組	日付	タイトル、見出し等
NHK ニュース	8月15日	自殺防止 子ども亡くした親が寄り添う大切さ訴え
日テレニュース 24	8月25日	もうすぐ新学期 子どもSOS見抜くには
テレビ朝日系 報道ステーション	8月30日	子ども救うために…アプリ利用の取り組み
NHK 朝イチ	8月31日	
TBS ビビット	8月31日	
日テレ ニュース ZERO	8月31日	
NHK ニュース	8月31日	News Up 学校に行きたくないあなたへ
NHK #8月31日の夜に。	8月31日	
NHK 朝イチ	8月31日	
TBS ビビット	8月31日	
日テレ ニュース ZERO	8月31日	

新聞、ネットニュース

媒体名	日付	タイトル、見出し等
読売新聞	7月20日	いじめ SNSでも相談できるよ
Yahoo! ニュース個人	7月20日	【飛び降り発言問題】本質は子どもからの通報機能の未整備
リセマム/ニフティニュース	8月16日	夏休み明けに向け「いじめ」防止強化、文科省やLINEなど官民連携
朝日新聞 withnews	8月18日	朝のホーム「あの子が危ない…」夏休み明け、思いとどまったけど マンガ「夜廻り猫」が描く新学期
AERA.dot	8月21日	子どもの自殺ピーク「魔の9月1日」 「もう死にます」 どうして小6女児は死を望んだのか
産経新聞	8月21日	夏休み明け前後に急増 子供の自殺防げ 電話相談、居場所づくり…地域が支援
共同通信 47NEWS	8月21日	防ごう、夏休み明けの自殺
毎日新聞	8月22日	夏休み：新学期前に電話・ネット相談窓口 子ども支援団体
毎日新聞	8月23日	水説：学校に行きたくない
朝日新聞デジタル	8月29日	夏休み後の登校、無理しないで 自殺防止へ団体呼びかけ
毎日新聞	8月30日	子どもの自殺予防：広がる取り組み 電話して 夏休み明け、つらい君へ
朝日新聞	8月30日	味方、ここにいるよ NPO、HPにいじめ発見シートや脱出策
Yahoo! ニュース個人	8月30日	9月1日前後の72時間が子ども自殺のピーク SOSの「受け取り方」に変化を
J-CASTニュース	8月31日	「学校に行きたくない人たちへ」 9月1日前に、大人たちからのメッセージ続々
日本経済新聞	8月31日	「味方はココにいます」 NPO、子供自殺防止へ呼び掛け
毎日新聞	8月31日	<自治体>いじめ相談 「電話からSNSへ」動き広がる
AERA.dot	8月31日	「宿題が手に付かない」は前兆かも… 自殺最多の9月1日を前に親がやれること
Yahoo! ニュース個人	8月31日	9月1日 登校を迷っている君と保護者へ「まずは心を休ませて」～元教員の視点
産経新聞	9月1日	夏休み明け自殺防止へ 相談窓口拡大、千葉県内でも対策強化
AERA.dot	9月1日	新学期が死ぬほど苦しい君へ 「義務教育は1日も通わず卒業できる」
毎日新聞	9月2日	自殺：夏休み明け相次ぐ 東京、埼玉で中高生3人死亡
産経新聞	9月5日	新学期 相次ぐ中高生自殺
東京新聞	9月5日	無理して学校行かないで NPO呼び掛け「大人は居場所を」
朝日新聞デジタル	9月6日	子どもの自殺、今年も相次ぐ 大人は気持ち受け止めて
朝日新聞	9月6日	登校つらい子たち 大人が受け止めて
毎日新聞	9月21日	自殺誘引せぬよう表現や時期 配慮を
読売新聞	10月27日	いじめ積極的に把握
共同通信 47NEWS	10月27日	学校のいじめ、最多の32万件
朝日新聞	11月9日	子の性被害 SOS どう対応
朝日小学生新聞	12月3日	力になれる人 必ずいます いじめなど一人で悩まず相談を
共同通信 47NEWS	12月4日	ネット相談の拡充が急務 座間9人遺体事件受け
Yahoo! ニュース個人	12月26日	子どもの命から考える～重大ニュースと見過ごされたニュースの共通点
読売新聞	1月19日	若者自殺 SNSで 専門相談員養成へ 民間団体に助成金
読売新聞 (ヨミドクター)	2月27日	若者の死因、自殺が1位…「死にたい」「消えたい」 SNSに氾濫

雑誌、書籍、刊行物、資料

内閣府		ネットの危険からお子さまを守るために 今、保護者ができること
文部科学省 「スマホ時代のキミたちへ」		相談窓口情報
警察庁 「あなたは悪くない」		相談窓口情報
岩崎書店 「なやみとーる」	3月15日	相談窓口情報

インターネット情報

Yahoo! 特別企画	9月	心のつながりを希望の架け橋に 自殺予防週間 -
Yahoo! 特別企画	3月	相談先 悩んでいるあなたへ 支えたいあなたへ 自殺対策強化月間
あすこれ 中高生のための情報サイト	11月12日	チャイルドライン～聞いてもらって大事



運営体制

チャイルドライン実施団体の活動状況

(全国 70 実施団体にアンケート調査を実施)



ボランティア数

ボランティアは全国で 1,947 名

2018 年 4 月時点で実働する、子どもの話を聴く「受け手」は 1,750 名、受け手のケアを担う「支え手」は 565 名（うち受け手との兼任 368 名）で、相談活動に携わるボランティアは全国で計 1,947 名に上ります。内訳では、女性が 87%、年齢は 40～50 代が半数以上と、40～50 代の女性が多く活躍しています。

男性	女性	計
236 名	1,522 名	1,758 名
13.4%	86.6%	

※ 1,947 名のうち、未回答の 189 名分を除く

子どもへの広報（カード配布）

日本全国の子どもに届けたカードは 1,103 万枚

チャイルドラインでは「すべての子どもがチャイルドラインを知っている状態」を目指して、全国各地で広報に取り組んでいます。全国の小学校、中学校、高校、特別支援学校などの在学者数 1,325 万人のうち、2017 年度に全国のチャイルドラインが配布したカード枚数は 1,103 万枚と、83.3%に相当します。(年 2 回配布する地域もあるため参考数値)

10 代	20～30 代	40～50 代	60 代～	計
6 名	194 名	989 名	569 名	1,758 名
0.3%	11.0%	56.3%	32.4%	

都道府県別カード配布状況

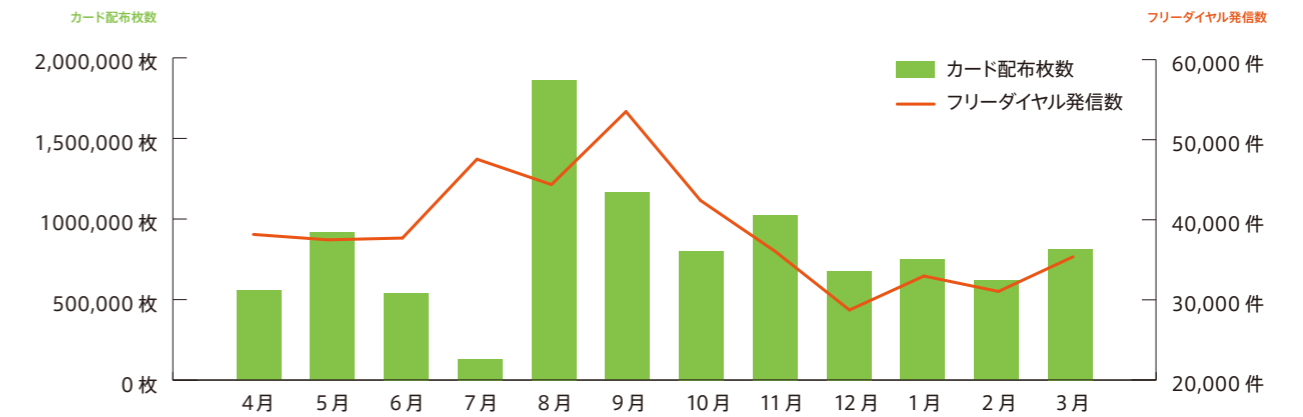
都道府県	カード配布枚数	子ども人口※	カード枚数／子ども人口比	2017 年度発信数	人口あたりの発信数
北海道	555,335 枚	510,719 名	108.7%	16,984 件	3.3%
青森県	20,000 枚	130,624 名	15.3%	3,264 件	2.5%
岩手県	140,000 枚	129,781 名	107.9%	12,141 件	9.4%
宮城県	13,250 枚	242,783 名	5.5%	8,003 件	3.3%
秋田県	30,000 枚	93,732 名	32.0%	1,874 件	2.0%
山形県	183,740 枚	115,762 名	158.7%	4,621 件	4.0%
福島県	25,617 枚	197,713 名	13.0%	4,534 件	2.3%
茨城県	440,000 枚	314,230 名	140.0%	5,282 件	1.7%
栃木県	200,200 枚	213,373 名	93.8%	4,412 件	2.1%
群馬県	160,000 枚	213,296 名	75.0%	5,580 件	2.6%
埼玉県	910,000 枚	749,315 名	121.4%	27,637 件	3.7%
新潟県	40,000 枚	232,389 名	17.2%	3,290 件	1.4%
長野県	260,000 枚	229,657 名	113.2%	4,784 件	2.1%
千葉県	192,400 枚	636,854 名	30.2%	14,576 件	2.3%
東京都	659,791 枚	1,247,475 名	52.9%	57,895 件	4.6%
神奈川県	1,184,200 枚	912,418 名	129.8%	30,653 件	3.4%
山梨県	100,000 枚	90,439 名	110.6%	4,879 件	5.4%
岐阜県	120,000 枚	225,467 名	53.2%	6,316 件	2.8%
静岡県	70,000 枚	400,087 名	17.5%	7,925 件	2.0%
愛知県	670,000 枚	833,348 名	80.4%	67,272 件	8.1%
三重県	672,820 枚	196,908 名	341.7%	2,643 件	1.3%
富山県	130,000 枚	110,417 名	117.7%	9,292 件	8.4%
石川県	150,000 枚	124,958 名	120.0%	6,611 件	5.3%
福井県	45,000 枚	88,211 名	51.0%	6,093 件	6.9%
滋賀県	24,000 枚	166,333 名	14.4%	7,615 件	4.6%
京都府	150,000 枚	271,715 名	55.2%	5,411 件	2.0%
大阪府	266,325 枚	916,347 名	29.1%	35,600 件	3.9%
兵庫県	702,520 枚	591,082 名	118.9%	15,921 件	2.7%
奈良県	30,019 枚	147,032 名	20.4%	2,092 件	1.4%
和歌山県	2,000 枚	101,150 名	2.0%	6,831 件	6.8%
鳥取県	60,000 枚	60,994 名	98.4%	3,175 件	5.2%
島根県	80,000 枚	72,988 名	109.6%	1,488 件	2.0%
岡山県	138,000 枚	211,812 名	65.2%	5,000 件	2.4%
広島県	316,400 枚	305,291 名	103.6%	9,921 件	3.2%
山口県	120,270 枚	141,321 名	85.1%	1,190 件	0.8%
徳島県	82,000 枚	75,494 名	108.6%	1,381 件	1.8%
香川県	167,560 枚	106,371 名	157.5%	1,639 件	1.5%
愛媛県	100,000 枚	144,410 名	69.2%	827 件	0.6%
高知県	200 枚	72,052 名	0.3%	2,909 件	4.0%
福岡県	512,500 枚	553,952 名	92.5%	12,642 件	2.3%
佐賀県	145,200 枚	97,839 名	148.4%	2,466 件	2.5%
長崎県	28,400 枚	149,365 名	19.0%	3,709 件	2.5%
熊本県	301,920 枚	197,055 名	153.2%	15,766 件	8.0%
大分県	280,000 枚	123,619 名	226.5%	3,571 件	2.9%
宮崎県	35,000 枚	125,454 名	27.9%	1,889 件	1.5%
鹿児島県	240,000 枚	185,662 名	129.3%	3,395 件	1.8%
沖縄県	280,760 枚	198,119 名	141.7%	4,459 件	2.3%
合計	11,035,427 枚	13,259,171 名	83.3%	465,458 件	3.5%

※文部科学省「学校基本調査(平成 29 年度)」より。 学校に在籍する 13,259,171 名のうち、都道府県別データのない国立、私立特別支援学校の 3,758 名を除く
 ※子ども人口は文部科学省の文部科学統計(平成 29 年 5 月 1 日時点)より小学校、中学校、高校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の在学者数を集計
 ※ 13,259,171 名のうち、都道府県別データのない国立、私立特別支援学校の 3,758 名を除く

夏休み明けにあわせてカード配布が集中

年間で配布した 1,103 万枚のカードの配布時期を月別にまとめると、8 月が 186 万枚と突出して多くなりました。夏休み明けにあわせて配布され、その結果 9 月の発信数が年間で最多の 53,000 件となっています。一方で、配布時期が集中することで電話につながりにくくなるといった影響も考えられるため、年間を通した配布枚数の調整も検討が必要です。

月別カード配布枚数と電話の発信数



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	平均
カード配布枚数	556,950 枚	916,100 枚	540,966 枚	1,306,509 枚	1,861,940 枚	1,162,746 枚	802,175 枚	1,025,587 枚	678,340 枚	750,444 枚	616,860 枚	814,810 枚	11,033,427 枚	919,452 枚
フリーダイヤル発信数	38,169 件	37,493 件	37,716 件	47,569 件	44,393 件	53,513 件	42,415 件	36,068 件	28,730 件	32,972 件	31,047 件	35,373 件	465,458 件	38,788 件

活動資金

全国の年間支出額は約 1 億円

全国のチャイルドライン実施団体の 2017 年度の事業支出額は合計 94,264,505 円でした。(1 団体回答なし) チャイルドライン支援センターとあわせると、約 1 億 5 千万円がチャイルドラインの活動全体にかかる費用となっています。また内訳では、年間支出 100 万円以上の団体が 28 団体ある一方、50 万円未満で活動するところが 28 団体となっています。

支出額	団体数	比率
1000 万円以上	1 団体	1.4%
500～999 万円	1 団体	1.4%
250～499 万円	6 団体	8.6%
100～249 万円	20 団体	28.6%
50～99 万円	13 団体	18.6%
50 万円未満	28 団体	40.0%
回答なし	1 団体	1.4%

自治体など行政機関からの財政支援を受けているところは 26 団体あり(計 26,223,012 円)、チャイルドラインが長年の蓄積により信頼され、必要とされていることがうかがえます。

全国のチャイルドライン実施団体が 1 年間にいただいたご寄付は計 65,393,743 円。日本中で多くの個人・企業・団体の皆様から活動を支えていただいています。

寄付金	団体数	比率
500 万円～	3 団体	4.3%
250～499 万円	3 団体	4.3%
100～249 万円	7 団体	10.0%
50～99 万円	13 団体	18.6%
10～49 万円	24 団体	34.3%
1～9 万円	14 団体	20.0%
1 万円未満	5 団体	7.1%
回答なし	1 団体	1.4%

公的支援	団体数	比率
500 万円～	2 団体	2.9%
250～499 万円	0 団体	0.0%
100～249 万円	3 団体	4.3%
50～99 万円	6 団体	8.6%
10～49 万円	11 団体	15.7%
10 万円未満	4 団体	5.7%
なし	43 団体	61.4%
回答なし	1 団体	1.4%



チャイルドライン実施団体の活動状況



チャイルドライン実施団体一覧 2018年7月1日現在 40都道府県70団体

- 北海道 札幌市
チャイルドラインほっかいどう (認定 NPO 法人チャイルドラインほっかいどう)
TEL:011-272-3755 実施日時:月、水 16～21時
- 青森県 青森市
チャイルドラインあおもり
FAX:017-782-0307
実施日時 青森:土 16～20時 弘前:第1・3木 16～20時
八戸:第2・3・4火 18～20時
- 岩手県 盛岡市
チャイルドラインいわて
TEL:019-664-6061 実施日時:火 16～21時
- 宮城県 仙台市
チャイルドラインみやぎ (NPO 法人チャイルドラインみやぎ)
TEL:022-279-7210 実施日時:火 16～21時
- 秋田県 秋田市
チャイルドラインあきた (NPO 法人あきた子どもネット)
TEL:018-865-1161 実施日時:火 16～20時
- 福島県 福島市
チャイルドラインふくしま
TEL:024-563-4191 実施日時:木 16～21時
- 福島県 郡山市
チャイルドラインごおりやま
TEL:024-942-4036 実施日時:水 16～21時
- 栃木県 宇都宮市
チャイルドラインとちぎ (認定 NPO 法人チャイルドラインとちぎ)
TEL:028-614-3253 実施日時:月、金 16～21時 (2・4金 23時まで)
第3土、第2日 16～21時
- 群馬県 前橋市
チャイルドラインぐんま
TEL:027-289-4365 実施日時:火 16～21時
- 埼玉県 朝霞市
さいたまチャイルドライン (認定 NPO 法人さいたまチャイルドライン)
TEL:048-486-7171
実施日時:月～木 16～21時 第1・3金 16～23時
第2・4金、第1・3日 16～18時半
- 千葉県 千葉市
チャイルドライン千葉 (NPO 法人子ども劇場千葉県センター)
TEL:043-301-7262
実施日時 千葉:月・水・木 16～19時、火 16～21時、第2・4土 19～21時
野田:金 16～21時、土 16～19時 市川:第1・3日 16～21時
- 東京都 港区
みなとチャイルドライン
TEL:070-6475-7210 実施日時:火 18～20時 日 17～20時
- 東京都 江東区
とうきょうかわのてチャイルドライン (NPO 法人こうとう親子センター)
TEL:03-3634-4085 (FAX) 実施日時:金 18～21時
- 東京都 品川区
しながわチャイルドライン (NPO 法人しながわチャイルドライン)
TEL:03-5462-2868 実施日時:金 16～21時、水 19～21時半
- 東京都 目黒区
めぐろチャイルドライン (NPO 法人めぐろチャイルドライン)
TEL:03-3513-7981 実施日時:不定期
- 東京都 世田谷区
せたがやチャイルドライン (社会福祉法人世田谷ボランティア協会)
TEL:03-5712-5101 実施日時:不定期
- 東京都 中野区
チャイルドライン 中野子ども電話 (NPO 法人中野ふくし倶楽部)
TEL:03-3384-5616 実施日時:土 16～21時
- 東京都 杉並区
チャイルドラインすぎなみ
BYK03200@nifty.ne.jp 実施日時:日 16～21時
- 東京都 八王子市
チャイルドライン八王子・子どものでんわ★21 (NPO 法人子どもネット「八王子」)
TEL:042-625-6909 実施日時:日 16～19時、第1月 18～21時

- 東京都 八王子市
八王子チャイルドライン「ココロ」(NPO 法人八王子チャイルドライン「ココロ」)
MAIL:hachiouji@coccoro.net 実施日時:水 18～21時、土 15～18時
- 東京都 立川市
チャイルドラインたちかわ
FAX:042-531-5927 実施日時:日 15～20時
- 東京都 武蔵野市
チャイルドラインむさしの (NPO 法人チャイルドラインむさしの)
FAX:0422-51-4423 実施日時:火 14～20時
- 東京都 狛江市
こまえチャイルドライン
TEL:03-3488-4264 実施日時:木 16～21時
- 神奈川県 横浜市
よこはまチャイルドライン (NPO 法人よこはまチャイルドライン)
TEL:045-342-0255 実施日時:月・水・木 16～21時
- 神奈川県 川崎市
かわさきチャイルドライン
TEL:080-6756-7763 実施日時:水 16～21時
- 新潟県 新潟市
チャイルドラインにいがた
MAIL:kodomoline@yahoo.co.jp 実施日時:水 16～21時
- 富山県 富山市
とやまチャイルドライン (とやまチャイルドライン愛ランド)
TEL:076-444-7807 実施日時:土 16～21時
- 石川県 金沢市
チャイルドライン・いしかわ (子ども夢フォーラム)
TEL:076-214-5680 実施日時:金・土 16～21時
- 福井県 福井市
ふくいチャイルドライン (認定 NPO 法人福井県子ども NPO センター)
TEL:0776-97-8460 実施日時 福井:月 16～21時 勝山:第1・3木 16～21時
- 山梨県 韮崎市
チャイルドラインやまなし
TEL:0551-23-5145 実施日時:日 18～21時、第2・4金 16～20時
- 長野県 長野市
チャイルドラインながの (NPO 法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト)
TEL:090-9667-0874 実施日時:月・水 16～21時、第5金 16～23時
- 長野県 上田市
チャイルドラインうえだ (チャイルドラインうえだ運営委員会)
TEL:090-3565-7086 実施日時:木 16～21時、第2・4水 16時～18時半、
第5金 16～23時
- 長野県 諏訪市
チャイルドラインすわ (NPO 法人すわ子ども文化ステーション)
TEL:0266-58-3494 実施日時:火・金 16～21時 (第3金 21:45まで)
- 長野県 佐久市
チャイルドライン佐久 (NPO 法人チャイルドライン佐久)
TEL:070-4189-0155 実施日時:土 16～21時



- 和歌山県 和歌山市
チャイルドラインわかやま (NPO 法人子ども NPO 和歌山県センター)
TEL:073-432-3664 実施日時:金 16～21時
- 鳥取県 倉吉市
チャイルドラインうさぎのみみ
TEL:090-6432-2967 実施日時:水 16～21時+日
- 島根県 松江市
チャイルドラインしまね (NPO 法人チャイルドラインしまね)
TEL:0852-24-9318 実施日時:第1～4土、第3火 16～20時
- 岡山県 岡山市
チャイルドラインおかやま (NPO 法人チャイルドラインおかやま)
TEL:086-233-1731 実施日時:月・土 16～21時+日
- 岡山県 笠岡市
チャイルドラインかさおか (認定 NPO ハーモニーネット未来)
TEL:0865-63-4955 実施日時:水 16～21時+日
- 広島県 広島市
ひろしまチャイルドライン (認定 NPO 法人ひろしまチャイルドライン子どもステーション)
TEL:082-233-8655 実施日時:月・水・木・金・土 16～21時+日
- 広島県 福山市
チャイルドラインびんご (子どもサポネット「ハートフル」)
TEL:090-8712-1803 実施日時:第1・3月 17～20時 第2・4土 16～19時
- 山口県 宇部市
チャイルドラインやまぐち (NPO 法人子ども劇場山口県センター)
TEL:0836-32-4287 実施日時:火 16～21時
- 山口県 岩国市
チャイルドライン岩国ステーション
TEL:0827-28-5051 実施日時:水 16～21時+日
- 山口県 下関市
チャイルドラインしものせき
TEL:083-256-6888 実施日時:木 16～21時
- 徳島県 徳島市
とくしまチャイルドライン
TEL:0884-28-0559 実施日時:第1水、第2金、第3土、第4日 16～21時
- 愛媛県 松山市
子ども電話「ひびき」(チャイルドライン ハートコール・えひめ)
TEL:089-923-9558 実施日時:5・10・15・20・25・30日 16～21時
- 高知県 高知市
チャイルドラインこうち
TEL:090-2788-9977 実施日時:木・第2・4火、第3土 17～20時
- 福岡県 北九州市
チャイルドライン北九州 (NPO 法人チャイルドライン北九州)
TEL:093-964-4152 実施日時:月 16～21時
- 福岡県 福岡市
チャイルドライン「もしもしキモチ」(認定 NPO 法人チャイルドライン「もしもしキモチ」)
TEL:092-734-1540 実施日時:第1,3水 16～23時、第2,4,5水 18～23時
- 福岡県 福岡市
チャイルドライン@ふくおか (子どもの権利条約@ふくおか)
TEL:092-672-2769 実施日時:木 18時半～21時、日 16～21時
- 長崎県 長崎市
チャイルドラインながさき (NPO 法人チャイルドラインながさき)
TEL:095-801-5521 実施日時:火・土 17～20時
- 長崎県 佐世保市
チャイルドラインさせば
TEL:0956-24-0214 実施日時:月 16～21時
- 大分県 大分市
チャイルドラインおおいだ
TEL:090-3322-3699 実施日時:木 16～21時
- 宮崎県 宮崎市
チャイルドラインみやざき (NPO 法人チャイルドラインみやざき)
TEL:0985-41-8228 実施日時:土 16～21時
- 鹿児島県 鹿児島市
チャイルドラインかごしま
TEL:080-2749-5523 実施日時:金 16～21時
- 岐阜県 岐阜市
チャイルドラインぎふ (NPO 法人チャイルドラインぎふ)
TEL:070-4189-0155 実施日時:金 16～21時
- 静岡県 焼津市
しずおかチャイルドライン (NPO 法人静岡県家庭教育サポート協会)
TEL:054-631-6762 実施日時:水 16～21時
- 静岡県 浜松市
はまつチャイルドライン
TEL:053-448-6129 実施日時:火 16～21時
- 愛知県 名古屋市長
チャイルドラインあいち (NPO 法人チャイルドラインあいち)
TEL:052-822-2801 実施日時:月・火・土・第4日 16～21時
- 愛知県 安城市
チャイルドラインみかわ (NPO 法人おやこでのびっこ安城)
TEL:0566-77-7085 実施日時:金 16～21時、土 18～21時 (第1休)
第1日 18時半～21時
- 三重県 津市
チャイルドライン MIE (NPO 法人チャイルドヘルプライン MIE ネットワーク)
TEL:059-211-0024 実施日時:月・水・金 19～21時ほか
- 滋賀県 大津市
しがチャイルドライン (NPO 法人 CASN)
TEL:077-537-5922
実施日時:金 16～21時 (第4金 18時半～20時休止) 第1火 18時半～20時
- 京都府 京都市
チャイルドライン京都 (NPO 法人チャイルドライン京都)
TEL:075-585-3038
実施日時 京都:月・木 16～21時 京田辺:水 17～20時
福知山:第4月 17時半～20時
- 大阪府 大阪市
チャイルドライン OSAKA (公益社団法人子ども情報研究センター)
TEL:06-4708-7087 実施日時:金 16～21時
- 大阪府 吹田市
チャイルドラインすいた (こらぼれチップス)
TEL:06-6382-0290 実施日時:水 16～21時
- 大阪府 富田林市
チャイルドラインとんだばやし (一般社団法人富田林市人権教育・啓発推進センター)
TEL:0721-20-0285 実施日時:月 16～21時
- 大阪府 和泉市
チャイルドラインいずみ (いずみこども AID)
TEL:090-6730-9653 実施日時:水 16時～20時半
- 東大阪市
チャイルドラインひがしおおさか
MAIL:childline.h@gmail.com 実施日時:土 16～21時
- 阪南市
チャイルドラインはらっぱ (NPO 法人子ども NPO はらっぱ)
TEL:072-471-2276 実施日時:火 16～21時
- 奈良県 奈良市
チャイルドラインなら (社会福祉法人奈良いのちの電話協会)
TEL:0742-35-0500 実施日時:水 16～21時



運営体制

チャイルドライン実施団体の活動状況

チャイルドライン支援センター運営状況

会員数(2018年3月31日現在) 正会員:個人41名 団体72名 支援会員:個人21名 団体2名

2018年度 役員

■代表理事

松江 比佐子 認定NPO法人チャイルドラインとちぎ理事長
梅澤 元彦 株式会社ムーンファクトリー代表取締役社長
NPO法人キープ・ママ・スマイリング理事

■常務理事(チャイルドライン事業)

高橋 弘恵 NPO法人チャイルドラインあいち専務理事

■常務理事(アドヴォカシー事業)

中村 尊 NPO法人フリースクール 全国ネットワーク理事
チャイルドラインながさき共同代表

■理事

青木 高 公益社団法人日本フィランソロピー協会事務局長
金子 由美子 NPO法人さいたまユースサポートネット副代表
佐藤 香代 弁護士/東京弁護士会子どもの権利委員会委員
関戸 真紀 いずみこどもAID代表
田野 浩美 せたがやチャイルドライン運営委員長
水口 良子 認定NPO法人チャイルドラインほっかいどう
常務理事/事務局長

■監事

児玉 勇二 弁護士
武 千晴 社会福祉士、精神保健福祉士、博士(教育学)
日本女子大学学術研究員

財務報告

活動計算書(2017年4月1日~2018年3月31日)

経常収益		(単位:円)	
受取会費		2,280,000	
受取寄附金等		12,632,563	
受取補助金		26,419,000	
受取助成金		7,473,198	
事業収益		4,456,777	
	資料代		3,364,662
	協賛金		1,057,915
	物販		9,200
	講演執筆料		25,000
その他収益		1,236	
経常収益 計		53,262,774	

経常費用		(単位:円)	
事業費		48,077,188	
	人件費		7,978,845
	その他経費		
	チャイルドライン事業		
	全国統一番号フリーダイヤル		21,299,300
	オンライン相談の試行、研修		6,883,831
	アウトリーチプログラム		673,513
	啓発パンフレット		491,260
	事業運営費		1,474,327
	アドヴォカシー事業		
	子ども広報		2,842,153
	空白県広報		3,449,637
	災害支援		207,623
	社会発信		1,321,480
	事業運営費		1,455,219
管理費		5,073,252	
	人件費		3,311,382
	その他経費		1,761,870
経常費用 計		53,150,440	

経常収支差額	112,334
--------	---------

ご支援・ご協力一覧



多くの方々からのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

(敬称略、順不同) ※法人、団体の皆様のみ掲載

日本電信電話株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
株式会社NTTドコモ	(東京海上 Share Happiness 倶楽部)
MS&AD インシュアランスグループホールディングス	三和グループ社会貢献倶楽部
(MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ)	東京海上ビジネスサポート株式会社
真如苑	東京海上日動 布良星の会
株式会社ケイ・オブティコム	チャイルドライン支援議員連盟
一般社団法人ほのぼの運動協議会	株式会社おそうじ革命
公益財団法人資生堂社会福祉事業財団	誰かのサンタ事務局
シクミオ株式会社	若松測量設計株式会社
株式会社佐藤建設	株式会社NHK出版
日本石材産業協会	有限会社川本商店
株式会社ディ・エフ・エフ(アンケート募金)	金子石材店
gooddo株式会社(クリック募金等)	リンベル株式会社(カタログギフト)
カシオ計算機株式会社(DFFアンケート募金)	チャイルドラインうさぎのみみ
日本ガイシ株式会社(DFFアンケート募金)	宝酒造株式会社(DFFアンケート募金)
リンナイ株式会社(DFFアンケート募金)	国際石油開発帝石株式会社(DFFアンケート募金)
中部電力株式会社(DFFアンケート募金)	サントリーホールディングス株式会社(DFFアンケート募金)
DIC株式会社(DFFアンケート募金)	三井住友建設株式会社(DFFアンケート募金)
東京ガス株式会社(DFFアンケート募金)	大阪ガス株式会社(DFFアンケート募金)
株式会社マダム(DFFアンケート募金)	コクヨ株式会社(DFFアンケート募金)
ソフトバンク株式会社	森永製菓株式会社(DFFアンケート募金)
KDDI株式会社	

●補助

厚生労働省「自殺防止対策事業」

●助成

公益財団法人JKA「競輪補助事業」
日本労働組合総連合会「連合・愛のキャンパ」
日本財団「子供の未来応援基金」

●後援「2017チャイルドライン全国キャンペーン」

内閣府
文部科学省
厚生労働省
総務省
チャイルドライン支援議員連盟
社会福祉法人全国社会福祉協議会
公益社団法人日本小児科医会
公益社団法人日本医師会

●協力

エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
株式会社博報堂
株式会社ビーアンドビービューロウ
株式会社三門印刷所
株式会社チャモ
株式会社プランニング・ヴィ
イノウデザイン株式会社
有限会社トランスプロジェクト
有限会社考学舎
有限会社萌文社
ツナガルラボ

公益社団法人日本小児科医会
一般財団法人児童健全育成推進財団
佐藤経営税務会計事務所
雨宮国際特許事務所
お茶の水女子大学

<災害支援>

熊本県教育委員会
熊本市教育委員会
KVOAD
(NPO法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク)

<空白県広報>

山形県教育委員会
茨城県教育委員会
兵庫県教育委員会
神戸市教育委員会
佐賀県教育委員会
熊本県教育委員会
熊本市教育委員会
沖縄県教育委員会
東京海上日動火災保険株式会社
(東京海上 Share Happiness 倶楽部) 社員のみなさま
東京海上アセットマネジメント株式会社 社員の皆様
東京海上ビジネスサポート株式会社 社員の皆様
三和グループホールディングス株式会社
(三和グループ社会貢献倶楽部) 社員の皆様

<アウトリーチプログラム>

劇団CAN 青芸 浅野 佳砂音
臨床心理士 久保 千晶
宇都宮市立昭和小学校

<Special Thanks>

青木沙織、伊藤光俊
Child Helpline International
Childline UK

0120-99-7777 利用状況

項目	2017年度	(1日平均)	2016年度	前年比	
発信数	465,458件	1,297件	563,948件	-98,490件	82.5%
着信数	198,434件	553件	209,243件	-10,809件	94.8%
着信率	42.6%		37.1%	+5.5%	114.9%
かけた人数(のべ)	243,270人	678人	263,069人	-19,799人	92.5%
つながった率	81.6%		79.5%	+2.1%	102.6%
平均通話時間	5分5秒		5分3秒	+2秒	102.8%
10分以上の通話	31,567件	88件	32,759件	-1,192件	96.4%
着信数比	15.9%		15.7%	+0.2%	101.6%
総通話時間	16,835時間	47時間	17,423時間	-588時間	96.6%
総実施時間※	39,428時間	110時間	40,613時間	-1,185時間	97.1%
稼働率※	42.7%		42.9%	-0.2%	99.5%
時間着信数/回線	5.0件		5.2件	-0.2件	97.7%

発信端末

発信端末	2017年度	比率	2016年度	増減
固定電話	94,406件	20.3%	22.0%	-1.7%
公衆電話	13,988件	3.0%	4.1%	-1.1%
携帯電話・スマートフォン	357,064件	76.7%	73.9%	+2.8%
発信数合計	465,458件			

発信数の内訳

着信数	198,434件	42.6%
不完了	話し中	33,812件 7.3%
	途中切れ	103,374件 22.2%
	時間外	34,249件 7.4%
	その他	95,589件 20.5%
発信数計	465,458件	100.0%

曜日別 実施体制/利用状況

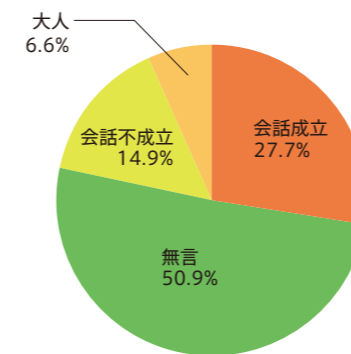
曜日	団体数	最大回線数	総実施時間数	かけた人数	着信数	あきらめた人数	つながった率	平均通話	総通話時間	稼働率
月曜日	15団体	27回線	133時間	772人	649件	123人	84.1%	4分39秒	50.3時間	37.8%
火曜日	18団体	25回線	111時間	685人	542件	144人	79.0%	5分35秒	50.4時間	45.4%
水曜日	19団体	29回線	139時間	806人	691件	115人	85.7%	5分00秒	57.5時間	41.4%
木曜日	14団体	22回線	105時間	680人	535件	144人	78.8%	5分39秒	50.5時間	48.1%
金曜日	16団体	26回線	127時間	729人	616件	114人	84.4%	5分23秒	55.2時間	43.3%
土曜日	16団体	22回線	100時間	676人	561件	116人	82.9%	4分26秒	42.9時間	43.0%
日曜日	8団体	9回線	41時間	316人	212件	104人	67.0%	4分25秒	16.2時間	39.3%

都道府県別

都道府県名	発信数	着信数	平均通話	総通話分
北海道	16,984件	7,347件	5分21秒	39,305分
青森県	3,264件	1,570件	2分41秒	4,214分
秋田県	1,874件	733件	8分20秒	6,109分
岩手県	12,141件	6,684件	2分47秒	18,647分
宮城県	8,003件	3,960件	8分8秒	32,221分
山形県	4,621件	2,047件	9分6秒	18,644分
福島県	4,534件	1,911件	9分9秒	17,498分
新潟県	3,290件	1,819件	6分17秒	11,423分
長野県	4,784件	2,076件	9分2秒	18,762分
群馬県	5,580件	3,342件	3分35秒	11,978分
栃木県	4,412件	2,171件	6分31秒	14,141分
茨城県	5,282件	2,628件	5分27秒	14,324分
東京都	57,895件	20,038件	5分46秒	115,494分
神奈川県	30,653件	11,472件	7分11秒	82,386分
千葉県	14,576件	5,062件	6分6秒	30,849分
埼玉県	27,637件	13,681件	5分27秒	74,578分
山梨県	4,879件	1,508件	10分19秒	15,548分
愛知県	67,272件	27,132件	3分30秒	94,985分
静岡県	7,925件	3,388件	5分41秒	19,239分
岐阜県	6,316件	2,979件	6分9秒	18,322分
三重県	2,643件	987件	5分24秒	5,332分
富山県	9,292件	4,712件	2分2秒	9,552分
石川県	6,611件	3,341件	6分15秒	20,865分
福井県	6,093件	2,767件	2分37秒	7,252分

都道府県名	発信数	着信数	平均通話	総通話分
大阪府	35,600件	14,461件	4分42秒	68,062分
京都府	5,411件	1,862件	7分36秒	14,131分
滋賀県	7,615件	3,097件	5分48秒	17,975分
奈良県	2,092件	808件	16分31秒	12,000分
和歌山県	6,831件	3,297件	1分42秒	5,629分
兵庫県	15,921件	6,456件	3分56秒	25,404分
岡山県	5,000件	2,381件	4分58秒	11,822分
広島県	9,921件	6,169件	3分23秒	20,871分
島根県	1,488件	697件	5分17秒	3,681分
鳥取県	3,175件	1,658件	5分28秒	9,058分
山口県	1,190件	457件	7分45秒	3,540分
香川県	1,639件	833件	5分25秒	4,509分
徳島県	1,381件	657件	4分12秒	2,759分
高知県	2,909件	1,823件	2分33秒	4,653分
愛媛県	827件	343件	8分51秒	3,036分
福岡県	12,642件	5,209件	5分47秒	30,109分
佐賀県	2,466件	878件	4分52秒	4,268分
長崎県	3,709件	1,631件	7分51秒	13,075分
熊本県	15,766件	7,934件	3分14秒	25,653分
大分県	3,571件	1,203件	6分46秒	8,138分
宮崎県	1,889件	679件	6分49秒	4,625分
鹿児島県	3,395件	1,237件	6分12秒	7,679分
沖縄県	4,459件	1,309件	6分3秒	7,917分
合計	465,458件	198,434件	5分5秒	1,058,116分

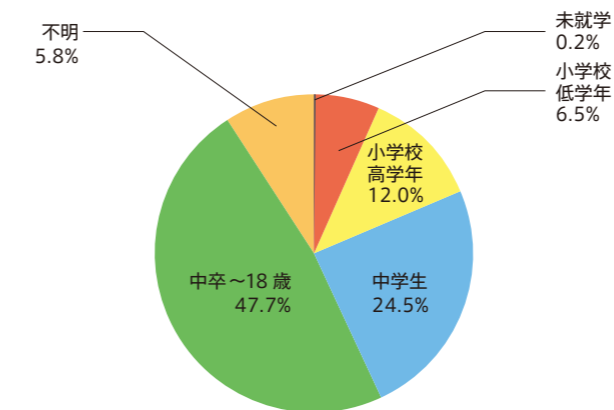
※ 2017年4月1日～2018年3月31日/NTTコミュニケーションズのトラフィックデータ調査ツールにより取得した交換機上の通信データ/一日平均は休止期間12月29日～1月3日を除く359日で算出/※はチャイルドライン支援センター調べ



着信の内訳

概況	着信数	比率
会話成立	54,366件	27.7%
無言	100,006件	50.9%
会話不成立	29,223件	14.9%
大人	13,013件	6.6%
合計	196,608件	100.0%

※全国70団体が集積した統計データ。0120-99-7777のほか、直通電話やオンラインチャットの件数も含む。「会話不成立」はいたずら電話やコミュニケーションが成立しないもの、性的な目的でかけてきたものを分類。「大人」には内容等から大人と推測されるものも含む。



利用者の性別・年齢

年齢	全体比	男子	女子	不明	全体
未就学	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%
小学校低学年	2.1%	4.3%	0.1%	0.1%	6.5%
小学校高学年	3.8%	8.0%	0.2%	0.2%	12.0%
中学生	11.8%	12.4%	0.3%	0.3%	24.5%
中卒～18歳	28.1%	19.3%	0.3%	0.3%	47.7%
不明	5.8%	2.6%	0.7%	0.7%	9.1%
合計	51.7%	46.7%	1.6%	1.6%	100.0%

※会話成立 54,366件の内訳

※ 2017年4月1日～2018年3月31日/NTTコミュニケーションズのトラフィックデータ調査ツールにより取得した交換機上の通信データ/一日平均は休止期間12月29日～1月3日を除く359日で算出/※はチャイルドライン支援センター調べ

内容

利用動機

性別	全体	男子	女子	不明
話を聞いてほしい	72.9%	70.4%	75.9%	64.7%
答えが欲しい	16.2%	16.6%	15.9%	14.0%
誰かとつながりたい	4.6%	4.6%	4.3%	7.6%
お試し	4.0%	5.5%	2.3%	7.6%
社会資源情報を求める	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%
実際に動いて欲しい	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
お礼、苦情	0.4%	0.3%	0.5%	1.4%
その他	1.6%	2.3%	0.8%	4.3%

全体	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	不明	合計
話を聞いてほしい	66.3%	67.8%	68.9%	72.3%	76.7%	64.3%	72.9%
答えが欲しい	12.4%	18.4%	19.7%	17.7%	14.9%	13.0%	16.2%
誰かとつながりたい	2.2%	3.3%	3.1%	4.0%	4.7%	8.1%	4.5%
お試し	14.6%	8.2%	6.6%	4.0%	2.0%	7.7%	4.0%
社会資源情報を求める	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	0.8%	0.6%	0.4%	0.2%	1.0%	0.4%
その他	4.5%	1.3%	1.0%	1.2%	1.3%	5.8%	1.6%

男子	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	不明	合計
話を聞いてほしい	54.8%	65.1%	62.0%	67.8%	74.5%	64.1%	70.5%
答えが欲しい	16.1%	17.6%	20.1%	18.3%	16.0%	13.2%	16.6%
誰かとつながりたい	3.2%	3.4%	3.9%	5.0%	4.4%	6.1%	4.6%
お試し	19.4%	11.0%	12.0%	6.6%	3.0%	8.9%	5.5%
社会資源情報を求める	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	0.9%	0.4%	0.3%	0.2%	0.8%	0.4%
その他	6.5%	1.7%	1.5%	1.7%	1.7%	6.9%	2.3%

女子	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	不明	合計
話を聞いてほしい	72.5%	69.2%	72.2%	76.7%	79.9%	65.7%	75.9%
答えが欲しい	11.8%	18.7%	19.5%	17.2%	13.3%	13.5%	15.9%
誰かとつながりたい	2.0%	3.2%	2.6%	3.2%	5.0%	12.1%	4.3%
お試し	11.8%	6.8%	4.0%	1.6%	0.6%	4.5%	2.3%
社会資源情報を求める	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.3%	0.1%	0.2%
実際に動いて欲しい	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%
チャイルドラインについて	0.0%	0.7%	0.6%	0.4%	0.2%	1.1%	0.4%
その他	2.0%	1.1%	0.8%	0.6%	0.6%	3.0%	0.8%

気持ち

気持ち	全体	男	女	不明
うれしい・たのしい	5.0%	4.6%	5.4%	5.8%
幸せ	0.4%	0.4%	0.3%	0.1%
楽しみ・期待	1.7%	1.6%	1.8%	0.6%
満足・充実感	0.6%	0.6%	0.6%	0.1%
怒り・いらだち	4.0%	3.4%	4.6%	3.7%
憂鬱	3.3%	2.9%	3.8%	2.8%
不安	15.3%	15.8%	14.9%	13.0%
イヤだ	10.5%	8.6%	12.6%	10.0%
疲れ	0.9%	0.5%	1.4%	0.6%
あきらめ	0.7%	0.5%	1.0%	0.4%
つらい・苦しい	9.1%	6.5%	11.9%	9.6%
悲しい	2.1%	1.1%	3.2%	2.2%
孤独・寂しさ	3.7%	3.0%	4.3%	4.7%
人目が気になる	1.4%	1.6%	1.1%	1.1%
自分に自信がない	2.8%	2.6%	3.0%	1.2%
恐怖・怖い	1.8%	1.4%	2.4%	1.5%
くやしい	1.3%	1.3%	1.3%	1.1%
困惑・困っている	13.2%	15.3%	10.9%	11.5%
葛藤・迷い・戸惑い	7.8%	9.6%	6.0%	5.2%
傷つきたくない	0.6%	0.4%	0.8%	0.3%
傷つけたくない	0.3%	0.3%	0.2%	0.0%
不明	7.5%	10.4%	4.2%	14.9%
その他	6.0%	7.4%	4.2%	9.4%

年齢 / 関係

関係	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	不明	合計
友人・知人	16.8%	39.4%	38.9%	23.2%	14.2%	14.3%	21.4%
恋人	0.0%	0.3%	0.7%	2.2%	5.4%	3.2%	3.4%
先輩・後輩	0.0%	0.7%	1.0%	1.3%	1.1%	0.5%	1.1%
同僚	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.4%	0.2%	0.3%
実父	2.3%	1.2%	1.9%	2.1%	2.0%	1.2%	1.9%
実母	6.1%	4.6%	6.0%	8.0%	7.5%	5.9%	7.1%
養父	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%	0.2%
養母	0.0%	0.1%	0.2%	0.6%	0.8%	0.5%	0.6%
きょうだい	5.3%	3.2%	1.9%	2.1%	2.1%	1.8%	2.1%
義理のきょうだい	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.7%	0.2%	0.4%
祖父	0.0%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%
祖母	0.8%	0.3%	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%	0.2%
先生	5.3%	2.4%	4.5%	3.9%	3.7%	3.2%	3.7%
顧問・指導者	0.0%	0.2%	0.4%	0.7%	0.8%	0.5%	0.7%
近所の人	0.0%	0.1%	0.2%	0.3%	0.6%	0.5%	0.4%
施設職員	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%	0.1%
知らない人	0.8%	0.4%	0.7%	0.9%	1.0%	1.2%	0.9%
自分自身のこと	52.7%	41.0%	37.6%	49.1%	53.2%	55.0%	49.5%
その他	9.9%	5.5%	5.0%	4.4%	5.7%	11.3%	5.9%

性別 / 関係

関係	全体	男子	女子	不明
友人・知人	21.0%	14.7%	28.1%	21.2%
恋人	2.9%	3.6%	2.1%	1.2%
先輩・後輩	1.1%	0.9%	1.3%	0.6%
同僚	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%
実父	2.0%	1.1%	3.1%	1.8%
実母	8.4%	8.6%	8.2%	9.0%
養父	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%
養母	0.4%	0.7%	0.2%	0.2%
きょうだい	2.3%	2.7%	2.0%	1.7%
義理のきょうだい	0.3%	0.5%	0.1%	0.2%
祖父	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
祖母	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%
先生	3.5%	3.5%	3.5%	3.3%
顧問・指導者	0.7%	0.6%	0.8%	0.3%
近所の人	0.3%	0.5%	0.1%	0.3%
施設職員	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
知らない人	0.7%	0.7%	0.7%	0.4%
自分自身のこと	49.6%	54.3%	44.4%	48.1%
その他	5.7%	6.8%	4.3%	10.3%

※会話成立 54,366 件の内訳。受け手ボランティアが会話の中で感じ取ったものをデータ化。

※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計が 100% にならない場合があります。

気持ち	未就学	小学校低学年	小学校高学年	中学生	中卒～18歳	不明	合計
うれしい・たのしい	32.6%	17.1%	8.3%	3.8%	3.3%	3.8%	5.0%
幸せ	1.1%	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%
楽しみ・期待	4.5%	2.8%	2.2%	1.3%	1.7%	1.0%	1.7%
満足・充実感	0.0%	0.9%	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%
怒り・いらだち	2.2%	2.1%	3.8%	3.6%	4.4%	4.4%	4.0%
憂鬱	0.0%	1.8%	2.8%	3.5%	3.6%	3.5%	3.3%
不安	9.0%	7.6%	11.0%	16.5%	17.4%	12.5%	15.3%
イヤだ	7.9%	20.8%	17.5%	11.4%	7.4%	7.7%	10.5%
疲れ	0.0%	0.3%	0.4%	1.0%	1.1%	0.8%	0.9%
あきらめ	0.0%	0.1%	0.4%	0.8%	0.8%	0.6%	0.7%
つらい・苦しい	3.4%	3.1%	6.4%	11.1%	10.2%	5.8%	9.1%
悲しい	2.2%	3.7%	3.7%	2.4%	1.5%	1.0%	2.1%
孤独・寂しさ	5.6%	4.1%	4.5%	3.5%	3.4%	3.8%	3.7%
人目が気になる	0.0%	0.2%	1.4%	1.3%	1.6%	1.1%	1.4%
自分に自信がない	1.1%	1.1%	1.7%	2.8%	3.6%	1.7%	2.8%
恐怖・怖い	2.2%	1.7%	2.3%	2.2%	1.7%	1.2%	1.8%
くやしい	0.0%	1.6%	2.0%	1.5%	1.1%	0.8%	1.3%
困惑・困っている	11.2%	15.8%	14.5%	13.3%	12.8%	11.2%	13.2%
葛藤・迷い・戸惑い	3.4%	2.2%	4.0%	6.9%	10.5%	5.7%	7.8%
傷つきたくない	0.0%	0.5%	0.5%	0.7%	0.6%	0.4%	0.6%
傷つけない	0.0%	0.2%	0.3%	0.3%	0.3%	0.1%	0.3%
不明	7.9%	6.1%	5.5%	5.8%	6.5%	21.5%	7.5%
その他	5.6%	5.9%	6.0%	5.5%	5.4%	10.2%	6.0%

主訴	男子	女子	その他	全体	前年度比
人間関係	13.3%	31.8%	17.8%	22.0%	1.5%
いじめ	5.6%	5.7%	8.1%	5.7%	-0.4%
セクハラ	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%	-0.4%
パワハラ	0.3%	0.6%	0.6%	0.5%	-0.0%
体罰	0.3%	0.1%	0.1%	0.2%	-0.1%
成績・勉強	2.6%	3.5%	4.7%	3.0%	-0.2%
中退	0.0%	0.2%	0.0%	0.1%	-0.0%
不登校	0.4%	1.6%	0.7%	1.0%	0.2%
部活	0.6%	1.1%	1.2%	0.9%	-0.1%
虐待	2.3%	3.0%	1.8%	2.6%	0.0%
家庭内暴力	0.2%	0.4%	0.2%	0.2%	0.0%
貧困	0.2%	0.1%	0.0%	0.2%	-0.0%
両親の不仲について	0.2%	0.7%	0.2%	0.4%	0.0%
家族との死別	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%	-0.0%
ネットトラブル	0.6%	1.1%	0.7%	0.8%	-0.0%
犯罪・暴力	0.4%	0.2%	0.3%	0.3%	0.0%
習い事	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	-0.0%
遊び	0.3%	0.4%	0.6%	0.4%	-0.0%

主訴	男子	女子	その他	全体	前年度比
性的アイデンティティー	1.5%	0.3%	1.2%	1.0%	0.0%
性被害	0.7%	0.5%	0.1%	0.6%	0.0%
妊娠	0.4%	0.5%	0.2%	0.4%	0.0%
性感染症	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性への興味関心等	27.5%	1.2%	8.4%	14.9%	0.8%
心に関すること	7.6%	11.9%	9.5%	9.5%	-0.1%
自死(自殺)念慮	0.3%	1.3%	1.4%	0.7%	0.0%
自傷行為	0.0%	1.4%	0.3%	0.6%	0.0%
薬物乱用・依存	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
身体に関すること	6.3%	2.8%	5.2%	4.7%	0.0%
性格のこと	0.7%	1.3%	0.5%	1.0%	-0.0%
容姿・体型のこと	0.6%	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%
進路・生き方に関すること	3.1%	3.5%	1.9%	3.3%	-0.0%
恋愛	5.7%	4.9%	3.1%	5.3%	0.0%
デートDV	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	-0.0%
ひきこもり	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%	-0.0%
雑談	12.5%	9.9%	14.1%	11.4%	-0.0%
その他	4.9%	6.2%	8.9%	5.6%	-2.5%

人間関係／内訳

主訴	全体	男子	女子	その他
学校・フリースクール	13.9%	7.5%	21.1%	12.6%
部活	1.4%	0.6%	2.2%	0.3%
家庭	5.4%	4.3%	6.8%	4.3%
職場	0.3%	0.2%	0.4%	0.0%
インターネット	0.4%	0.4%	0.5%	0.3%
習い事	0.3%	0.2%	0.5%	0.1%
塾	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
放課後の見守りの場	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%

いじめ／内訳

主訴	全体	男子	女子	その他
学校・フリースクール	5.3%	5.2%	5.3%	7.6%
部活	0.3%	0.3%	0.3%	0.3%
インターネット	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%

セクハラ／内訳

主訴	全体	男子	女子	その他
学校・フリースクール	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%
部活	0.1%	0.1%	0.0%	0.1%
放課後の見守りの場	0.0%	0.0%	0.1%	0.1%

パワハラ／内訳

主訴	全体	男子	女子	その他
学校・フリースクール	0.3%	0.2%	0.4%	0.3%
部活	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
塾、習い事	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%

深刻な主訴

主訴	男子	女子	不明	全体	前年度比
いじめ	1,569件	1,454件	72件	3,095件	-490件
加害	32件	33件	1件	66件	-54件
傍観	63件	139件	4件	206件	-50件
被害	1,474件	1,282件	67件	2,823件	-386件
虐待	702件	898件	18件	1,618件	89件
身体的	96件	239件	4件	339件	83件
心理的	167件	336件	5件	508件	93件
性的	373件	128件	8件	509件	-82件
ネグレクト	24件	118件	0件	142件	38件
教育虐待	42件	77件	1件	120件	-43件
犯罪・暴力	89件	55件	1件	145件	-35件
家庭内暴力	48件	154件	3件	205件	70件
パワハラ	94件	158件	5件	257件	-26件
セクハラ	115件	67件	3件	185件	-248件
性被害	212件	86件	3件	301件	-57件
デートDV	34件	9件	27件	33件	-34件
加害	1件	4件	0件	5件	-11件
被害	33件	5件	27件	33件	-23件
体罰	86件	33件	1件	120件	-52件
不登校	117件	397件	6件	520件	55件
ひきこもり	55件	35件	0件	90件	1件
自死(自殺)念慮	131件	257件	9件	397件	-28件
自傷行為	20件	205件	3件	228件	-143件
薬物乱用・依存	4件	21件	2件	27件	3件
ネットトラブル	257件	369件	5件	631件	166件
拡散	34件	58件	1件	93件	24件
出会い系	22件	38件	0件	60件	12件
料金	30件	36件	0件	66件	-63件
依存	18件	17件	1件	36件	-10件
その他	153件	220件	3件	376件	203件

虐待／内訳

主訴	全体	男子	女子	その他
身体的	0.6%	0.3%	0.9%	0.4%
心理的	0.9%	0.6%	1.3%	0.6%
性的	0.9%	1.3%	0.5%	0.9%
ネグレクト	0.3%	0.1%	0.5%	0.0%
教育虐待	0.2%	0.1%	0.3%	0.1%

ネットトラブル／内訳

主訴	全体	男子	女子	その他
拡散	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%
出会い系	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
料金	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
依存	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
その他	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%

心に関すること／内訳

主訴	全体	男子	女子	その他
気分の落ち込み	5.5%	4.1%	7.1%	4.9%
自信の無さ	2.1%	1.5%	2.8%	2.2%
退屈	0.2%	0.3%	0.2%	0.1%
恐怖	0.3%	0.2%	0.5%	0.2%
脅迫観念	0.5%	0.2%	0.7%	0.4%
過度な家族密着	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%
嗜癖	0.4%	0.6%	0.2%	0.3%
その他	1.7%	1.6%	1.8%	2.8%

※会話成立 54,366 件の内訳。受け手ボランティアが会話の中で感じ取ったものをデータ化。
 ※小数点第二位以下を四捨五入しているため、合計が 100% にならない場合があります。

ご提供できる資料・報告書



(2016.3月発行)

- 災害時における子どものこころのケア
～被災地からの子どもの声に応える～

- 第1章 子どものこころに耳を澄ます
～非常時に、子どもたちが自分の不安を安心して言えるようにするための手立てとしての「聴く」という手法
- 第2章 震災後の居場所の役割
～問いから始まる居場所づくり
- 第3章 被災地の子どもに寄り添うために
～トラウマケアとグリーフケアについて知る
- 第4章 子どもを守るための地域での備え
～平時の地域連携の在り方
- 第5章 災害時のボランティアの心得
- 第6章 災害時における子ども支援
～子供の声が見える4つのポイント



(2016.3月発行)

- 子どもの声の分析プロジェクト報告書
～自己肯定感が育ちにくい今の社会を子どもの声から考える～



(2015.3月発行)

- 東日本大震災 子どもたちへの影響
～チャイルドラインに寄せられた子どもの声の記録から～



- チャイルドライン全国フォーラム 2016in 福島 報告書
～被災地の声に耳を澄ます～ 子どもたちは今



- チャイルド・ヘルプラインの電話相談実践ガイド



(2017.8月発行 在庫希少)

- 2017 チャイルドライン年次報告



- 活動紹介リーフレット (B4、2つ折り、両面カラー)



- 気持ちを聴く
～チャイルドラインが大切にしていること～

2018 チャイルドライン年次報告 CHILDLINE ANNUAL REPORT

発行日：2018年8月25日 第1版 第1刷発行
 発行人：松江 比佐子 梅澤 元彦
 発行：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター（認定NPO）
 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5 曙橋コーポ2階
 TEL:03-5312-1886 FAX:03-5312-1887
 E-mail: info@childline.or.jp URL: http://www.childline.or.jp
 表紙・レイアウト・デザイン：イノウデザイン株式会社
 印刷製本：株式会社グラフィック

※無断で複製・転載することを禁じます
 ※「チャイルドライン」および「チャイルドライン・キャラクター」は特定非営利活動法人チャイルドライン支援センターの登録商標です。

※在庫状況、資料提供にかかる費用については事務局までお問合せください。



チャイルドライン®

18さいまでの子どもがかけるでんわ



公益財団法人 JKA
競輪補助事業 <http://hojo.keirin-autorace.or.jp/>